

令和4年度

第7回 帯広市地域公共交通活性化協議会 次第

日時：令和5年2月20日（金）14時00分～

場所：帯広市役所 10階第6会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 協議事項

議案第1号 帯広市地域公共交通計画 素案について

(2) その他

4 閉 会

《配付資料》

資料1 出席者名簿

資料2 帯広市地域公共交通計画 素案

## 令和4年度 第7回帯広市地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
北海道大学大学院 公共政策学連携研究部	教授	岸 邦宏	アドバイザー
十勝バス株式会社	取締役執行役員 事業本部長	長沢 敏彦	
北海道拓殖バス株式会社	業務部長	小森 明仁	
大正交通有限会社	代表取締役	道見 誠一	
毎日交通株式会社	専務取締役	千葉 和也	
北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社 帯広駅	駅長	石崎 雅史	(欠席)
十勝地区バス協会	事務局	近藤 薫	
十勝地区ハイヤー協会	専務理事	塚本 俊二	
帯広市町内会連合会(住民代表)	副会長	齊藤 雅俊	(欠席)
北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	酒井 啓友	
北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	議長	久保 真司	
北海道 十勝総合振興局 地域創生部 地域政策課	主幹	山田 貴弘	監査
帯広開発建設部 道路計画課	課長	大江 祐一	代理出席 宮西上席道路計画 専門官
帯広警察署 交通第一課	課長	桐山 知彦	(欠席)
帯広市 都市環境部	部長	和田 亮一	会長
帯広市 経済部観光交流室	室長	加藤 帝	(欠席)
帯広市 学校教育部教育総務室	室長	村木 章純	
帯広市 市民福祉部地域福祉室地域福祉課	課長	永田 敏	
帯広市 市民福祉部福祉支援室介護高齢福祉課	課長	佐藤 克己	
帯広市 経済部商業労働室商業労働課	課長	鳥本 貴敬	(欠席)
帯広市 都市環境部環境室環境課	課長	西島 新一	

【調査委託事業者】 一般社団法人北海道開発技術センター 調査研究部	主任研究員	吉田 隆亮	
	室長	篠原 祥一	
	課長	岡田 剛	
	係長	涌井 一憲	
【事務局】 帯広市 都市環境部 都市建築室 都市政策課	主査	千葉 香織	(欠席)
	主任	屋仲 聡一郎	
	主任	豊田 有	
	主任補	川筋 亮賀	

帯広市地域公共交通計画  
(素案)

令和 5 年 2 月  
帯広市

# — 目 次 —

## 第1章 はじめに

第1節 計画策定の背景と目的	1
第2節 計画の位置付け	2
第3節 計画区域	3
第4節 計画期間	3
第5節 計画の対象	4

## 第2章 現状と課題

第1節 帯広市の現状	5
第2節 公共交通の現状	16
第3節 課題	30

## 第3章 計画の基本的な考え方

第1節 地域公共交通の将来像	32
第2節 計画の基本方針	33
第3節 地域公共交通の位置付け及び役割	35

## 第4章 基本方針に基づく施策

第1節 施策体系	36
第2節 施策内容	37

## 第5章 計画の推進に向けて

第1節 評価指標	47
第2節 計画の推進	48

## 参考資料

---

## 第1章 はじめに

---

### 第1節 計画策定の目的と背景

地域公共交通は、通院・通学、買い物などの日常生活はもとより、観光客などの来訪者の移動の手段として重要な役割を担っています。

これまで帯広市では、平成13年度に「帯広市バス交通活性化基本計画」、平成20年度に「帯広市地域公共交通総合連携計画」を策定し、農村地区におけるデマンド型交通の導入や路線バスの利用促進に向けた取り組みなどを進めてきたほか、平成28年度には、「帯広市地域公共交通網形成計画」を策定し、持続可能な地域公共交通網の形成に資する取り組みを進めてきたところです。

人口減少・少子高齢化の進展や、自家用車の普及などの社会情勢の変化により減少傾向にあった路線バス利用者数は、計画に基づく取り組みなどにより、平成19年度には増加傾向に転じ、平成25年度以降はほぼ横ばいで推移してきました。

しかし、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、公共交通利用者は大幅に減少していることに加え、慢性的な運転手不足によるサービス低下や原油価格高騰などによる収支悪化など、地域公共交通を取り巻く環境は大変厳しい状況に置かれています。

国では、令和2年に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を改正し、地方公共団体における地域公共交通の計画に関することや、公共交通の改善や移動手段の確保に向けた仕組みの拡充など、地域旅客運送サービスの確保に資する取り組みを推進しています。

北海道では、広域分散型の地域構造における通院・通学などをはじめとした市町村を超えた住民の移動ニーズの実情を踏まえ、将来にわたり持続可能な交通体系を確保するため、全道を14地域に区分し、市町村や交通事業者など地域の関係者と連携しながら、広域的な地域公共交通計画の策定に向けた取り組みが進められており、十勝管内では、北海道及び十勝管内の19市町村で構成する「北海道十勝地域公共交通計画推進協議会」において、十勝管内の広域交通を対象とする「十勝地域公共交通計画」を令和5年6月に策定する予定です。

帯広市地域公共交通計画は、地域公共交通を取り巻く環境や国、北海道の動向を踏まえ、持続可能な地域旅客運送サービスの提供の確保を目的として策定するものです。

## 第2節 計画の位置付け

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条に基づく地域公共交通計画として策定するものです。

また、本市の上位計画である「第七期帯広市総合計画」に即すとともに、総合計画の分野計画に位置付け、「第2次帯広市都市計画マスタープラン」、「帯広市中心市街地活性化基本計画」などの本市のその他の行政計画と連携を図り、さらには北海道及び十勝管内19市町村による「十勝地域公共交通計画」などと整合を図りながら策定するものです。

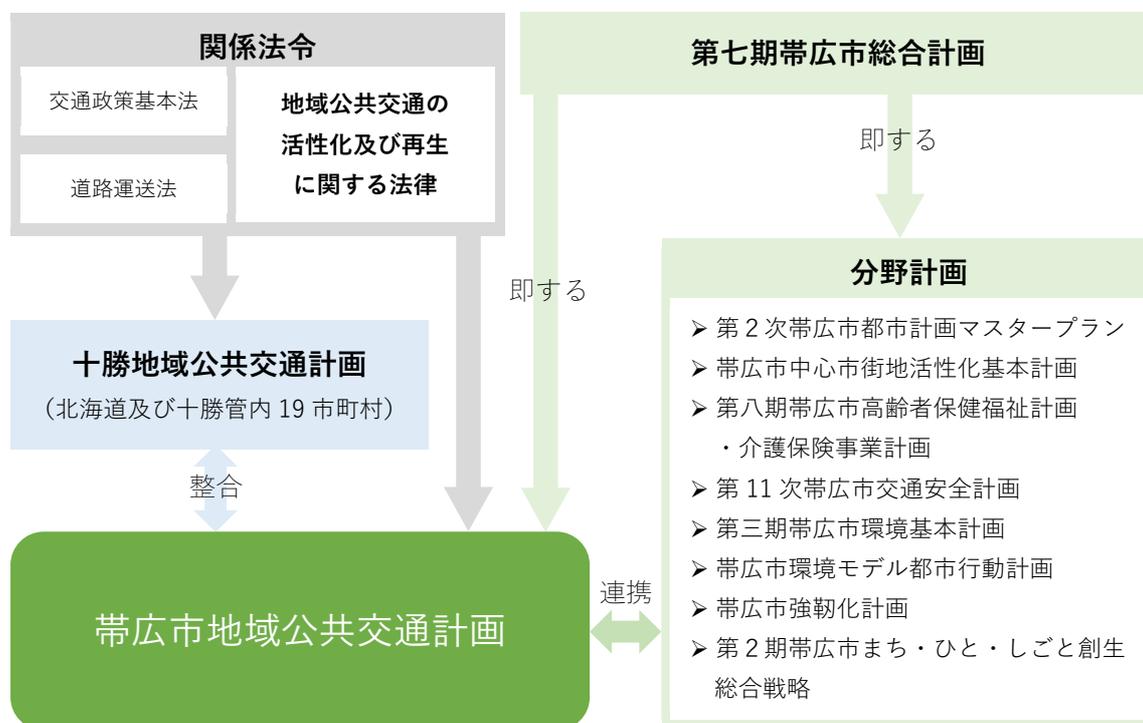


図1 計画の位置付け

### 第3節 計画区域

計画対象区域は、帯広市全域とします。

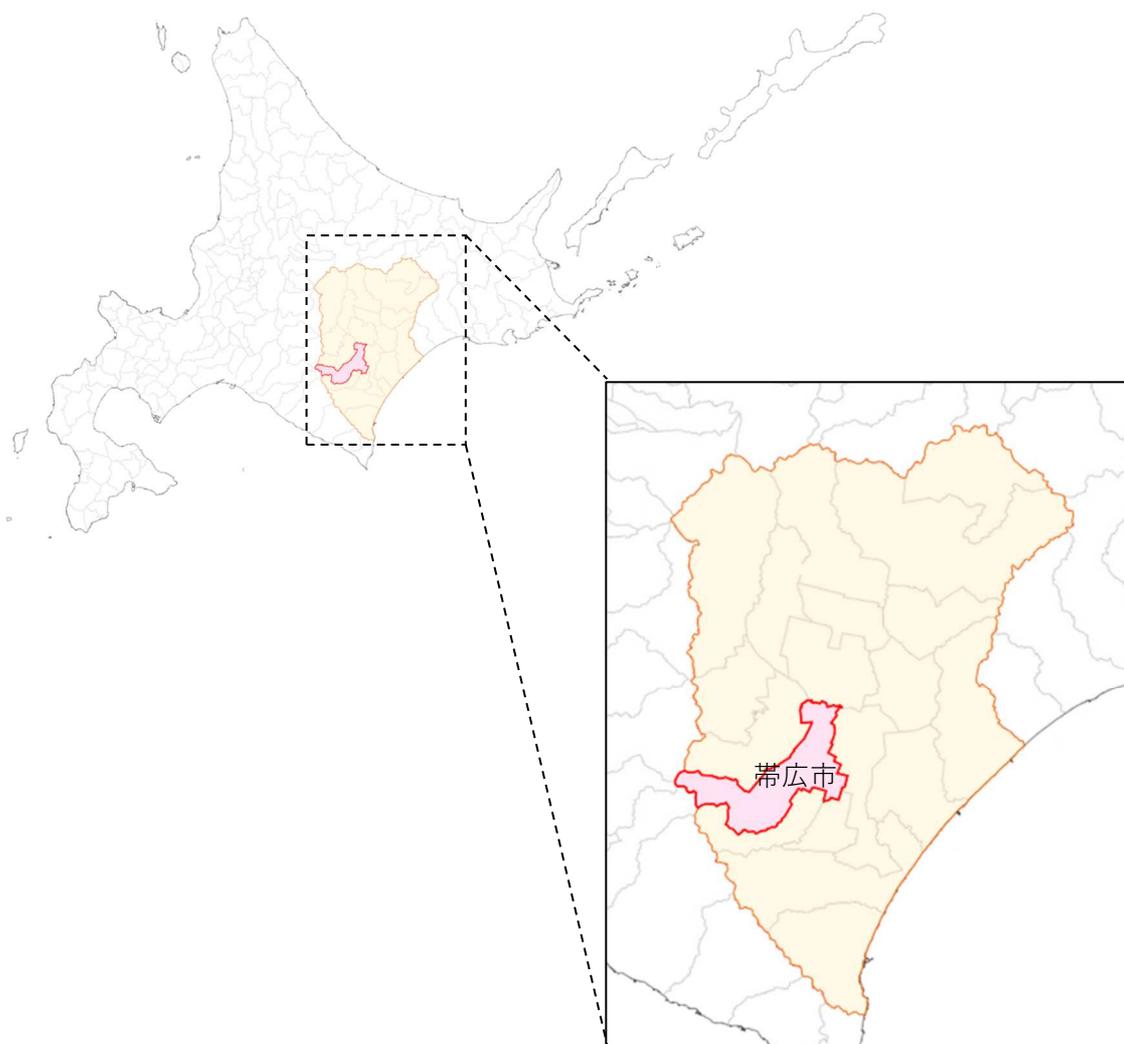


図2 計画対象区域図

### 第4節 計画期間

計画期間は、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とします。

## 第5節 計画の対象

本計画の対象は、以下のとおりとします。

表1 計画の対象

分類	役割・機能等	交通モード	路線・系統
都市間交通	広域都市間の移動を支える基幹の公共交通	鉄道	JR 根室本線
	空港を利用した道外への移動を支える公共交通	路線バス	都市間バス 空港連絡バス
地域間交通	十勝管内の市内外住民の通勤・通学・通院・買物などの日常生活を支える生活交通	鉄道	JR 根室本線
		路線バス	地域間幹線系統
市街地交通	市民の通勤・通学・通院・買物などの日常生活を支える生活交通	鉄道	JR 根室本線
	路線バスでカバーできない市民の生活交通及び観光客等来街者の移動手段	路線バス	広域生活交通路線 市町補助及び市単独補助路線 補助対象外路線
郊外交通	農村部（大正・川西地区）住民の通院・買物などの日常生活を支える生活交通	タクシー	（市内タクシー事業者）
		デマンド交通	地域内フィーダー系統

十勝地域公共交通計画

帯広市地域公共交通計画

## 第2章 現状と課題

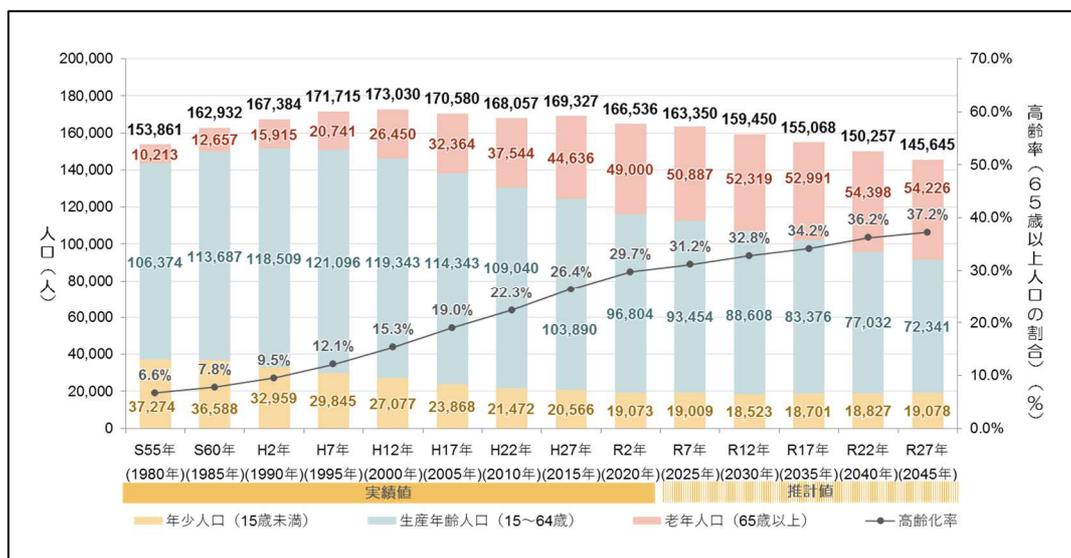
### 第1節 帯広市の現状

#### 1 人口

##### (1) 人口推移

本市の人口は、平成12年の173,030人をピークに減少局面に入り、令和2年には166,536人まで減少しています。帯広市人口ビジョンによると、本市の人口は今後とも減少を続け、令和27年には145,645人になると推計されています。

また、平成12年と令和2年の年齢区分別の人口を比較すると、15歳未満の年少人口が約3割、15歳以上65歳未満の生産年齢人口が約2割減少している一方で、65歳以上の老年人口は約9割増加しています。令和27年には更なる増加が見込まれていることから、高齢者の運転免許返納等による移動困難者の増加や、公共交通の運転手等の担い手の確保が難しくなることが想定されています。

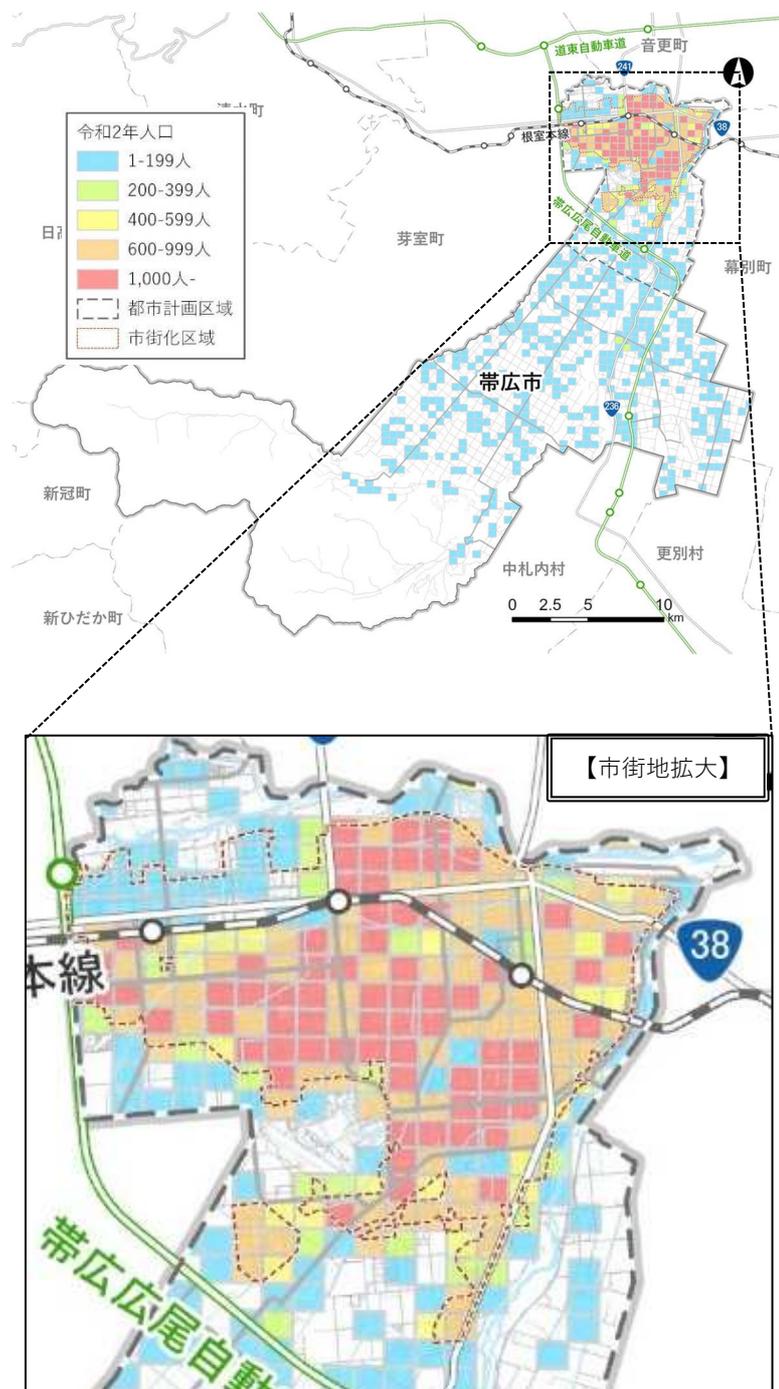


出典：国勢調査、帯広市人口ビジョンを基に帯広市作成

図3 帯広市の人口推移

## (2) 人口分布

本市では、全人口の約 95%が市街化区域内に居住し、残りは農村部に散居しています。市街化区域内の北部や西部、南部の人口密度が高くなっています。

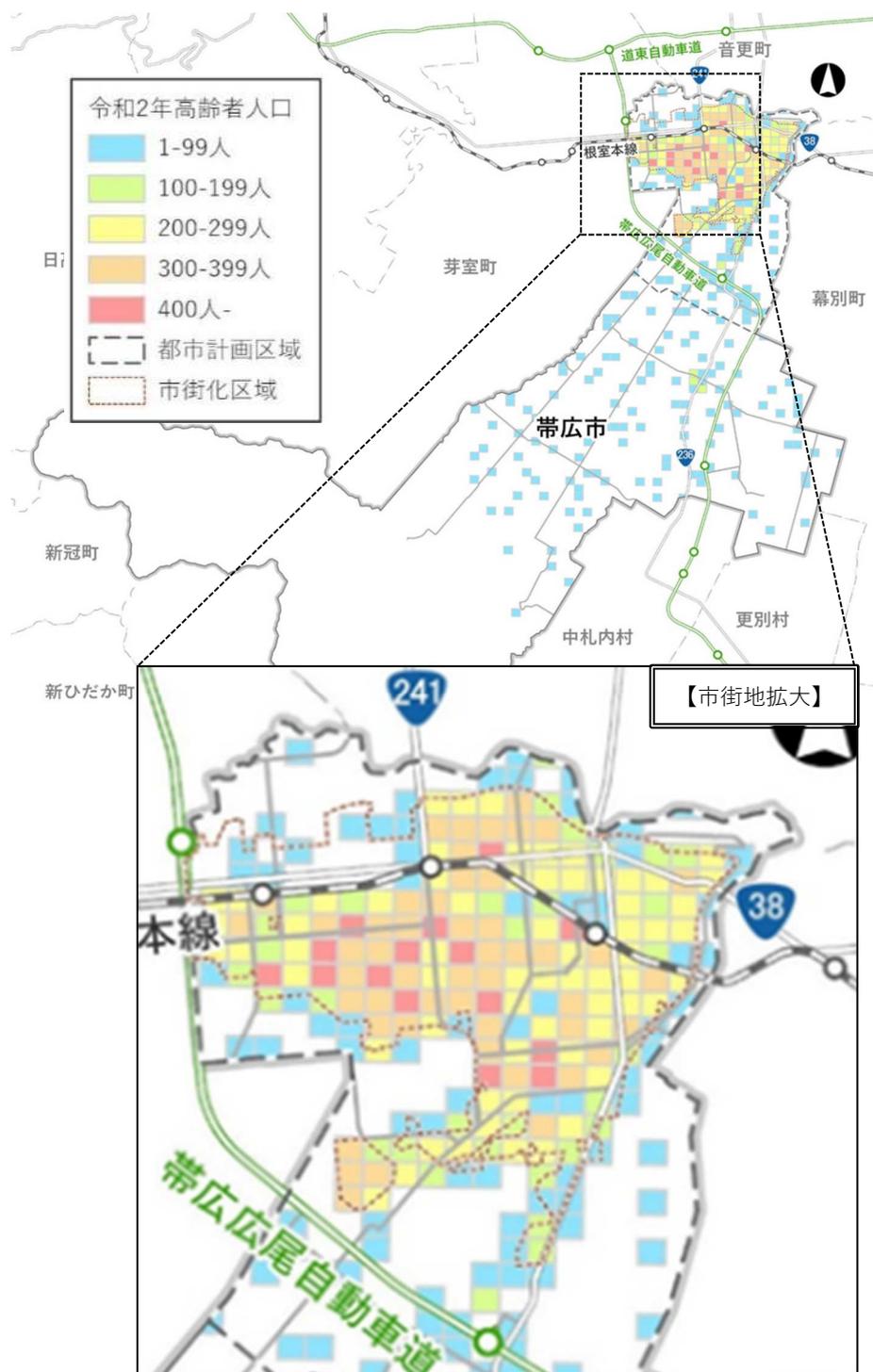


出典：e-stat 令和2年国勢調査 500mメッシュ人口

図4 令和2年人口分布

### (3) 高齢者人口分布

大空地区や西帯広地区において、高齢者が多く分布しています。

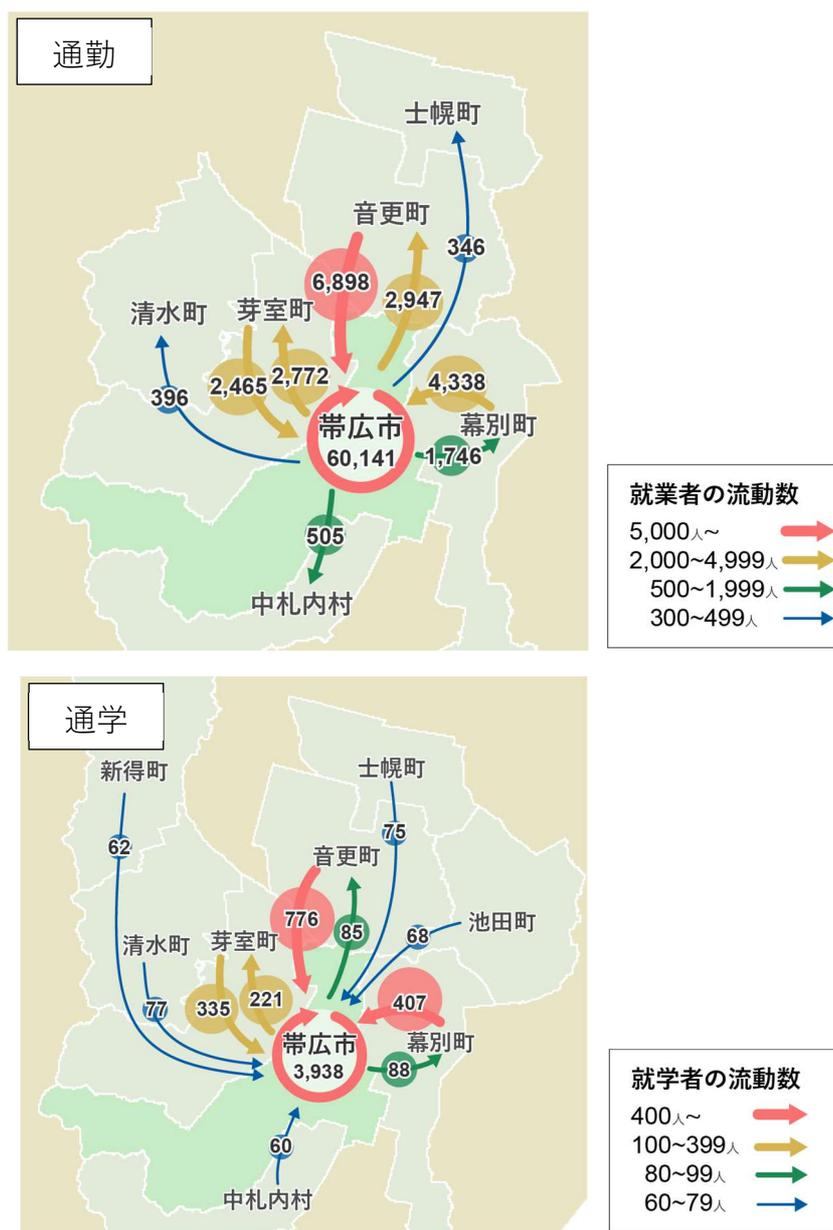


出典：e-stat 令和2年国勢調査 500mメッシュ人口

図5 令和2年高齢者人口分布

#### (4) 通勤・通学の状況

帯広市は、産業・経済、教育・文化、医療・福祉、行政など様々な都市機能が集積する十勝の中核都市であるため、通勤・通学などの移動は市内だけではなく、周辺町村からも発生しています。



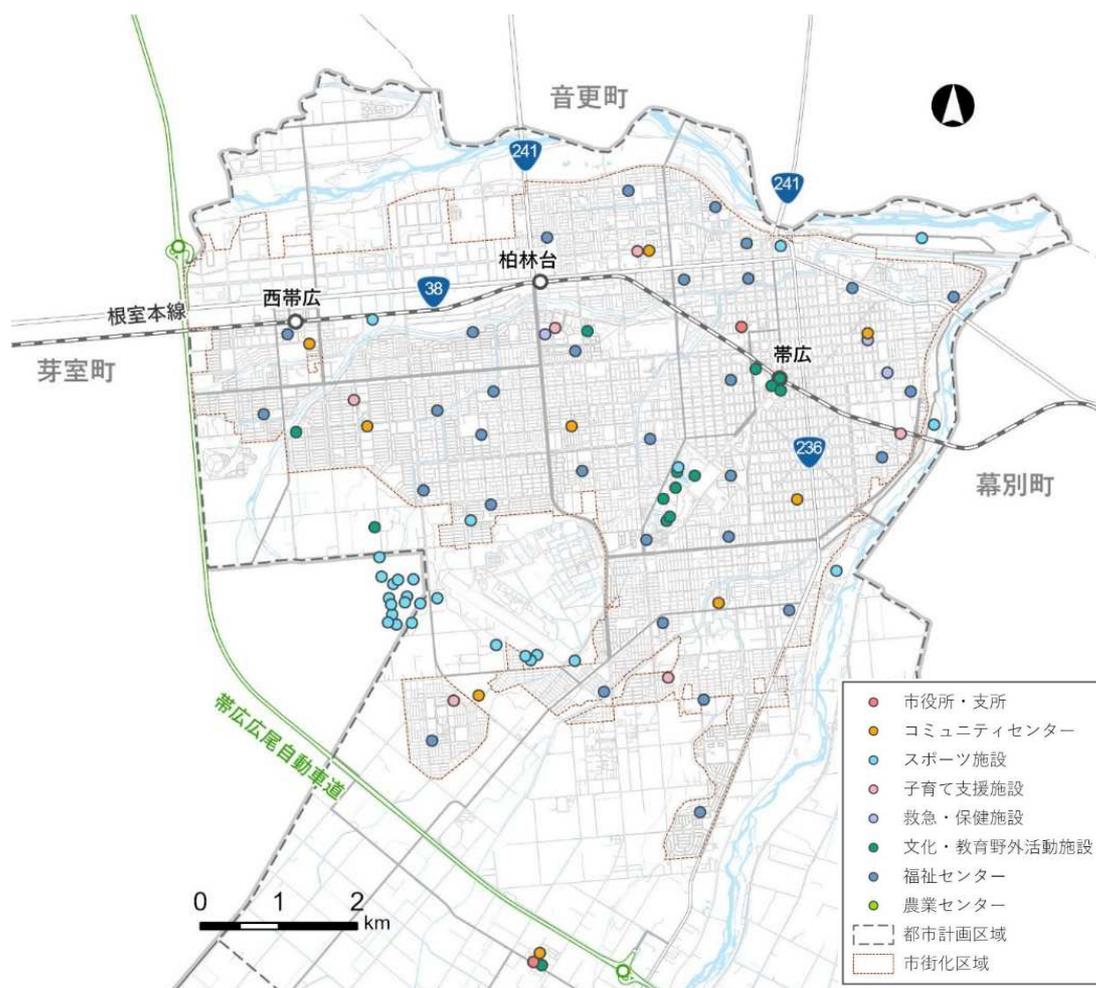
出典：帯広圏パーソントリップ調査（H17）

図6 通勤・通学流動

## 2 各種施設の立地状況

### (1) 公共施設

公共施設は、市内の広範囲に立地しており、特に中心部や緑ヶ丘公園周辺には文化教育野外活動施設、帯広の森周辺にはスポーツ施設が集積しています。

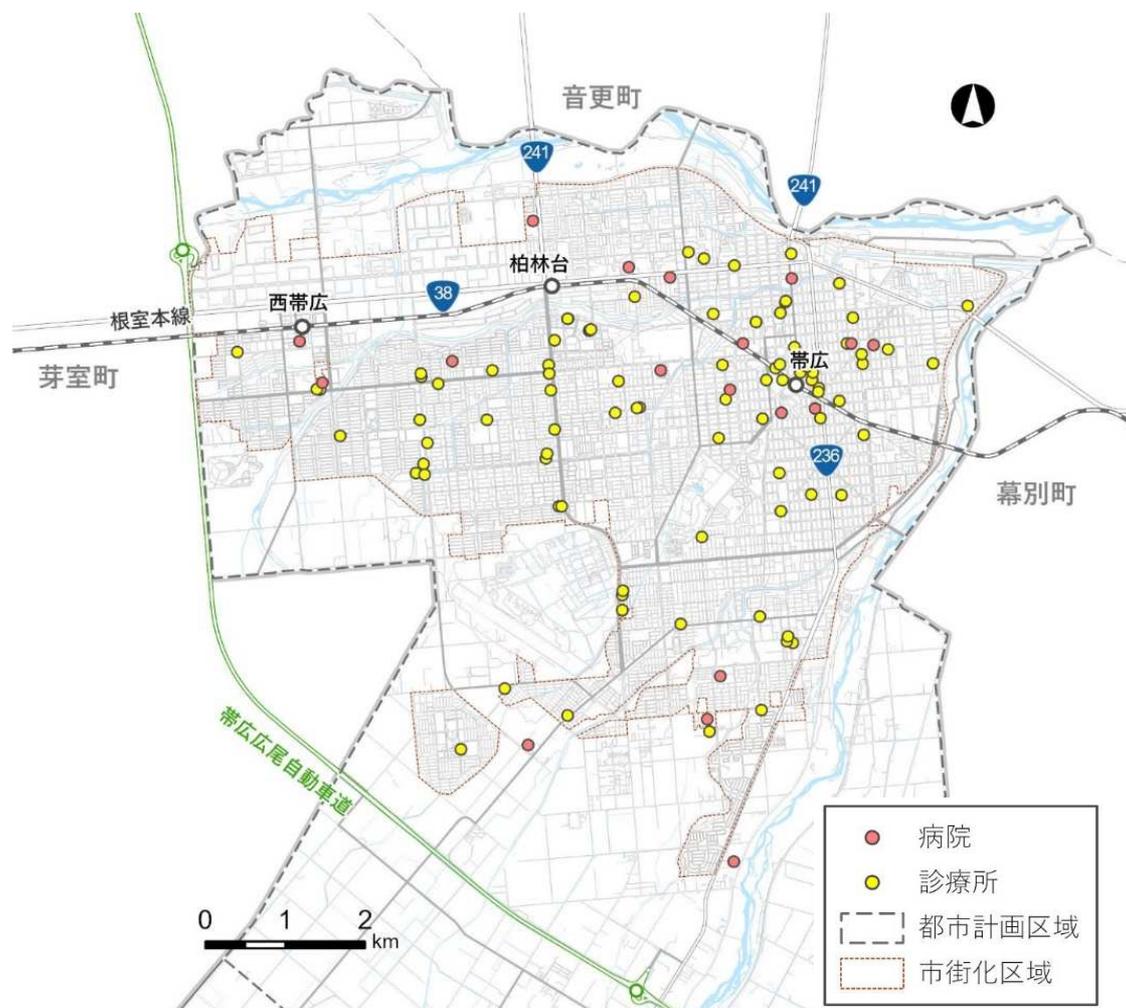


出典：帯広市ホームページ 市庁舎・施設

図7 公共施設立地状況

## (2) 医療施設

医療施設は、中心部のほか、白樺通や弥生新道、栄通などの幹線道路沿いに多く立地しています。



出典：国土数値情報 医療機関、北海道厚生局 コード内容別医療機関一覧（R4.11.1 現在）

図8 医療機関立地状況

### (3) 商業施設

商業施設は、市街地の広範囲に立地しており、特に中心部や南地区、西地区においては、大型商業施設（10,000 m<sup>2</sup>以上）が立地しています。



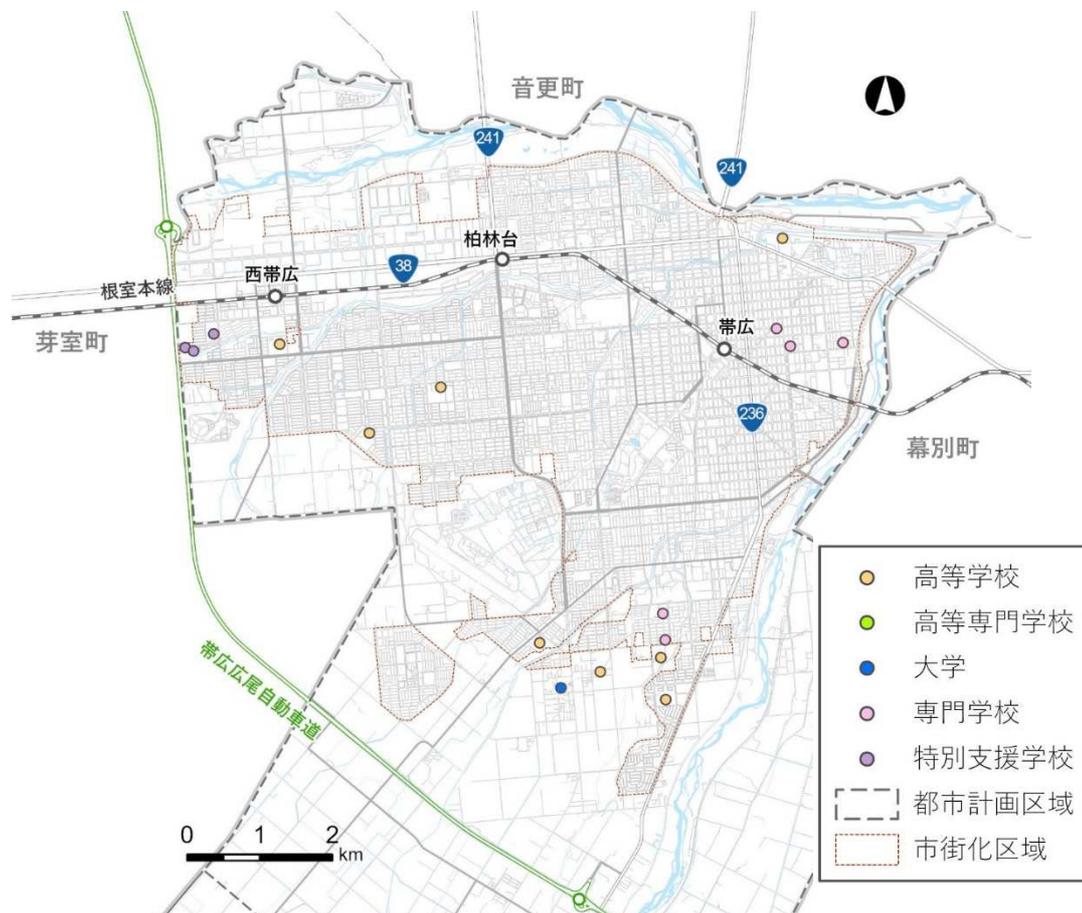
出典：iタウンページ、各店舗ホームページ

図9 商業施設立地状況

**※藤丸閉店に伴うピン付、凡例等の削除**  
**※総合スーパー等の定義等を再整理**

#### (4) 教育施設

高等学校や大学、専門学校は、南地区や西地区に多く立地しています。

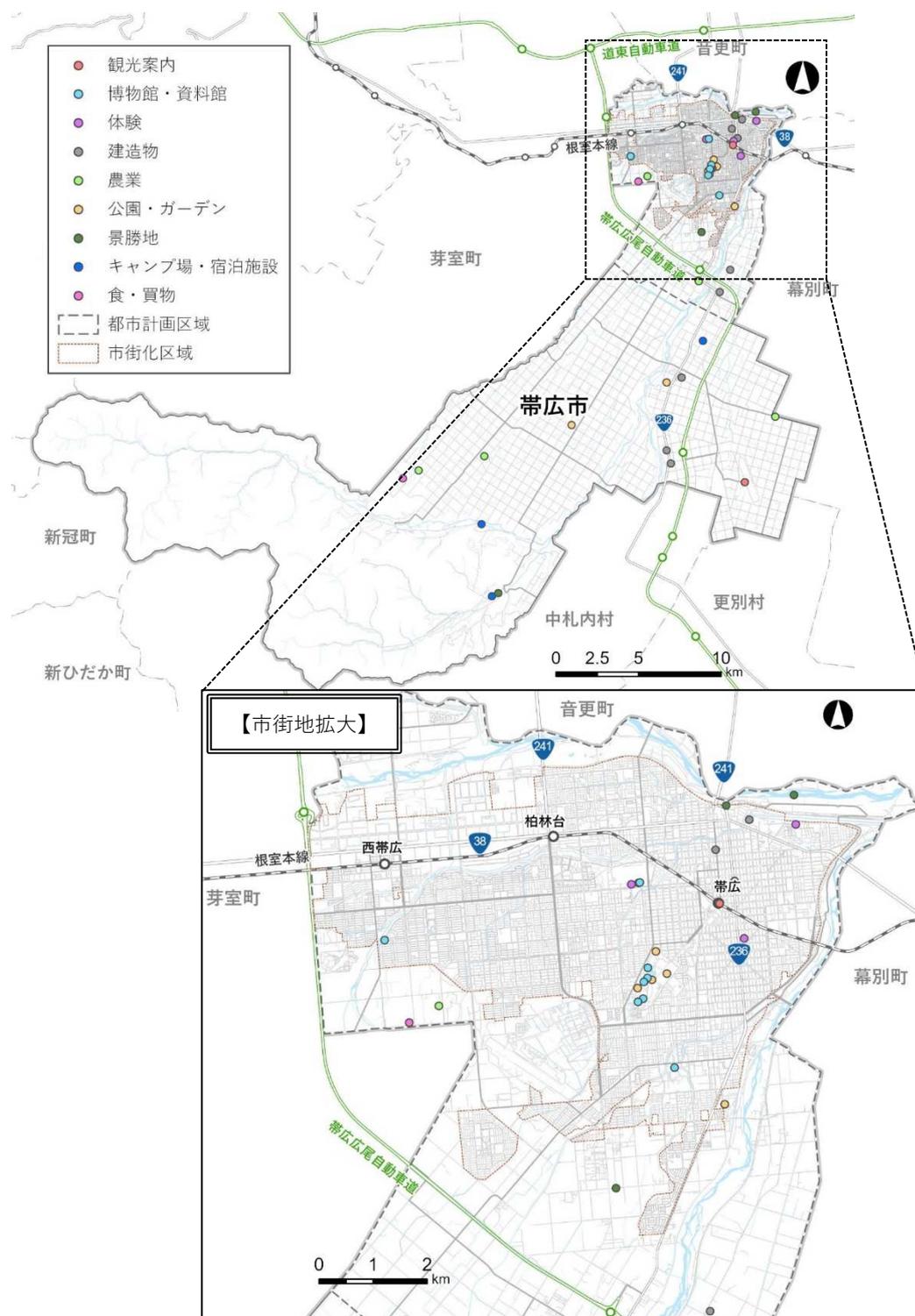


出典：国土数値情報 学校 (R4.11.1 現在)

図10 教育施設立地状況

## (5) 観光施設

観光施設は、市街地や郊外の広範囲に分布しています。



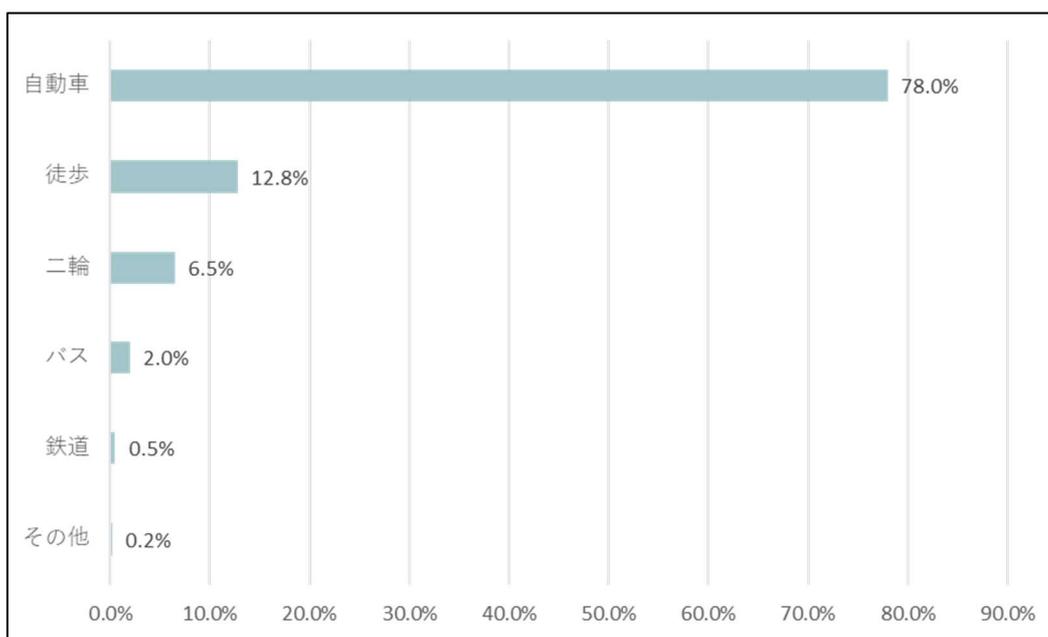
出典：一般社団法人 帯広観光コンベンション協会ホームページ 帯広観光 Navi

図 11 観光施設立地状況

### 3 交通機関分担率

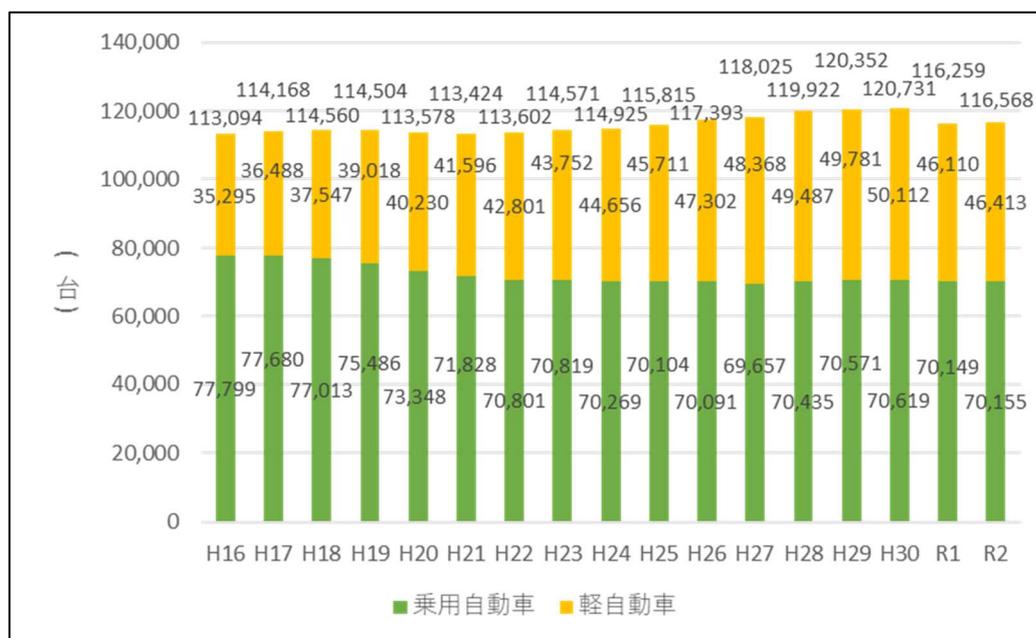
帯広圏（帯広市、音更町、幕別町、芽室町）においては、自動車の利用割合が約8割と高く、バスや鉄道の利用割合が低い状況です。

また、帯広市内の自動車保有台数は、ほぼ横ばいで推移しています。



出典：帯広圏パーソントリップ調査（H17）を基に帯広市作成

図 12 交通機関分担率（平日）

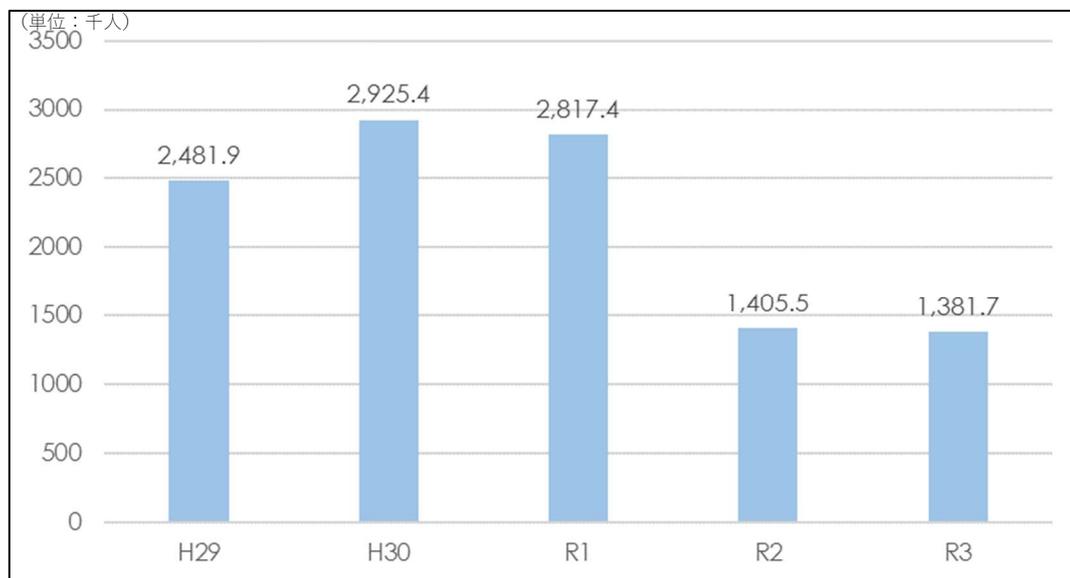


出典：令和3年度帯広市統計書より ※貨物自動車、特殊自動車、小型二輪車、乗合自動車を除く

図 13 自動車保有台数の推移

#### 4 観光入込客数

帯広市の観光入込客数は、令和元年度まで増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した令和2年度以降、大幅に減少しています。

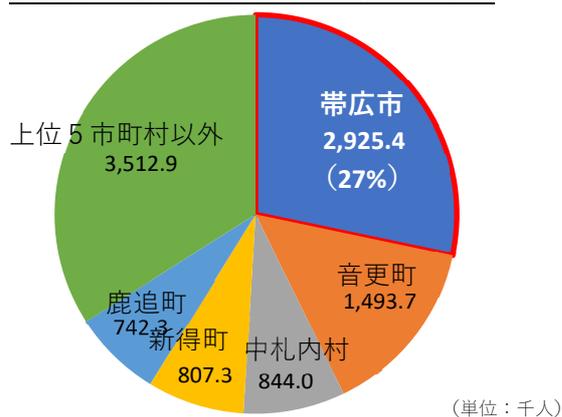


出典：十勝総合振興局 HP「十勝管内観光入込客数について」を基に帯広市作成

図 14 帯広市の観光入込客数の推移

また、帯広市の観光入込客数は、十勝管内で最も多く、十勝への観光入込客数の約3割を占めています。

十勝管内観光入込客総数：10,325.6 千人



出典：十勝総合振興局 HP「十勝管内観光入込客数について」より

図 15 十勝管内の観光入込客数の内訳（平成30年度）

## 第2節 公共交通の現状

### 1 バス

#### (1) 概要

市内には、交通事業者2社（十勝バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社）により、十勝管内の町村を結ぶ広域路線や市内のみを運行する路線バスが運行しています。

路線バス網は、市街化区域を概ね網羅しており、帯広駅バスターミナルの発着・経路を基本として、東西・南北方向に運行していますが、一部の路線は、帯広駅を経由しながら、市内を大きく循環する長大路線も存在しています。

また、帯広駅バスターミナルは、十勝管内・市内を運行する路線バスや空港連絡バス、都市間バスが乗り入れしていることから、交通結節点として重要な役割を果たしています。

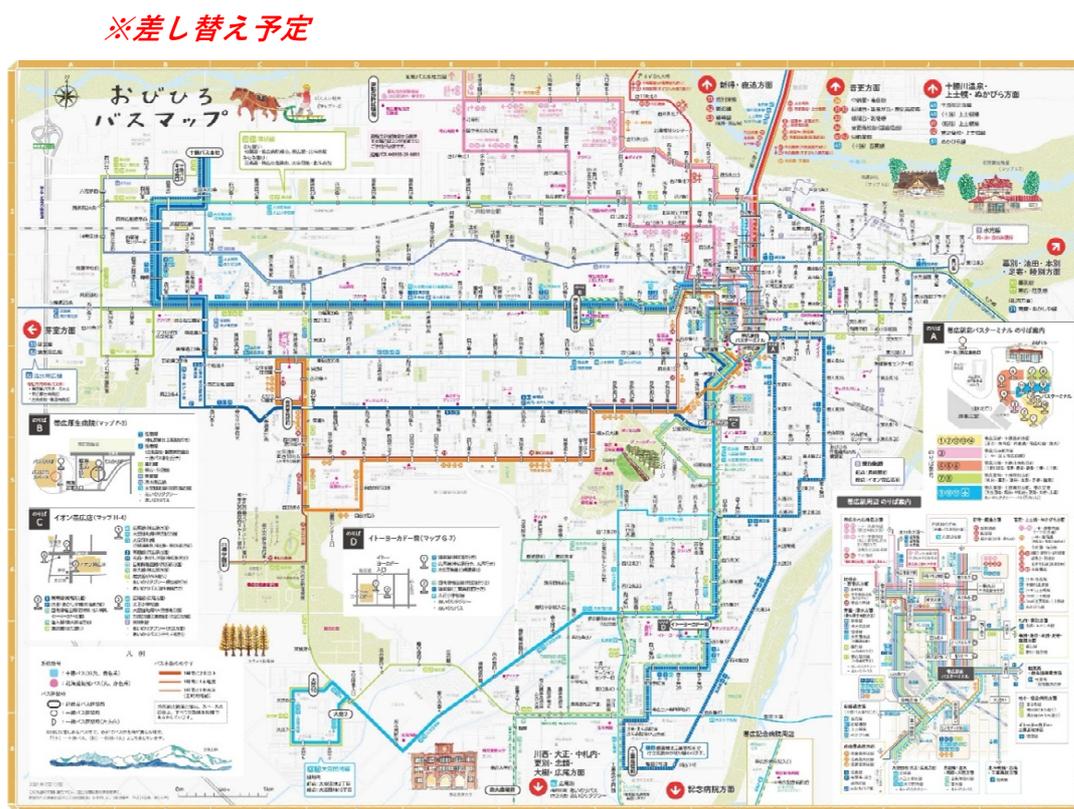


図16 路線バスネットワーク図

## (2) 運行路線

### ①地域間交通

#### 【地域間幹線系統：15 系統】

表2 地域間幹線系統一覧

運行主体	路線名	起点	経由地	終点	キロ数
十勝バス(株)	南商あかしや線	十勝バス本社	札内北町	幕別温泉	23.1
	十勝川温泉線	帯広駅バスターミナル	宝来	エコロジーパーク	15.5
	帯広陸別線	十勝バス南口	本別	陸別	117.3
	上士幌線	十勝バス本社	士幌	上士幌バスターミナル	51.1
	音更線	十勝バス本社	柳町団地	音更桜ヶ丘	22.1
	芽室線	帯広駅バスターミナル	白樺通 19 条	芽室駅前	8.3
	広尾線	帯広駅バスターミナル	大正・更別	広尾営業所	91.1
北海道拓殖バス(株)	雄飛が丘団地線 (緑陽台)	帯広駅前	緑陽台	雄飛が丘北区	11.0
	緑駒線	帯広駅前	緑陽台駒場	帯広駅前	32.9
	中鈴蘭線 (中鈴蘭)	帯広駅前	中鈴蘭	帯広駅前	13.3
	然別湖線	帯広駅前	鹿追	然別湖	65.0
	鹿追線	帯広駅前	上然別	鹿追	36.6
	新帯線	帯広駅前	鹿追	南新得	60.2
	上士幌線	帯広駅前	音更大通	上士幌	41.7
	音上線	帯広駅前	音更高校	上士幌	45.9

### ②市街地交通

#### 【広域生活交通路線：5 系統】

表3 広域生活路線一覧

運行主体	路線名	起点	経由地	終点	キロ数
十勝バス(株)	幕別線	十勝バス南口	札内幕別	幕別東緑町団地	29.5
	自衛隊稲田線	帯広駅バスターミナル	自衛隊	イトーヨーカドー	11.7
	新町線	十勝バス南口	西陵中学校	帯広駅バスターミナル	10
	環状線	十勝バス本社	北斗病院	十勝バス本社	35.8
	南商線	十勝バス本社	南商高校	帯広駅バスターミナル	11.8

【市町補助及び市単独補助路線：18 系統】

表 4 市町補助・市単独補助路線一覧

運行主体	路線名	起点	経由地	終点	キロ数
十勝バス(株)	南北循環線	工業高校	帯広駅バスターミナル	東 13 条	9.6
	畜大線	帯広駅バスターミナル	自衛隊	畜大農場前	10.5
	東 8 条線	イオン帯広店	保健福祉センター	長崎屋	7.8
	水光線	帯広駅バスターミナル	十勝総合振興局	東 13 条	6.6
北海道拓殖バス(株)	一中・療養所線 (西 5 条 3 丁目)	帯広駅前	西 5 条 3 丁目	帯広駅前	11.5
	一中・療養所線 (帯広市役所南口)	帯広駅前	帯広市役所南口	帯広駅前	11.5
	療養所線(玄武住宅)	帯広駅前	玄武住宅	拓殖バス本社前	7.4
	療養所線(玄武住宅)	中央公園	玄武住宅	拓殖バス本社前	8.2
	一中線(一中前)	帯広駅前	一中前	拓殖バス本社前	7.3
	中鈴蘭線 (中鈴蘭)	帯広駅前	中鈴蘭	帯広駅前	13.3
	中鈴蘭線 (帯広市役所南口)	帯広駅前	帯広市役所南口	中鈴蘭	7.1
	運転免許試験場線	運転免許試験場	国立帯広病院前	帯広駅前	6.7
	一中・南商線(駅南口一中前)	拓殖バス本社前	駅南口一中前	南商高校	13.6
	南商業高校線	帯広駅前	第一病院南商高校	帯広駅前	18.9
	南商業高校線	帯広駅前	第一病院国際センター	南商高校	8.8
	南商業高校線	南商高校	帯広市役所南口	帯広駅前	10.2
	帯広の森線	帯広駅前	南商高校	白樺高校	11.9
	中鈴蘭・南商線	中鈴蘭	帯広駅前	南商業高校	12.5

【補助対象外路線：10 系統】

表 5 補助対象外路線一覧

運行主体	路線名	起点	経由地	終点	キロ数
十勝バス(株)	大正小学校線	十勝バス本社	帯広駅バスターミナル	大正小学校	28.3
	大空団地線 (国道経由)	十勝バス本社	動物園	大空団地	18.2
	大空団地線	帯広駅バスターミナル	動物園	大空団地	10.1
	新緑通線	十勝バス本社	三条高校	帯広駅バスターミナル	10.5
	東西循環線	十勝バス本社	白樺通19条	工業高校	18.1
	大空団地線 (白樺通経由)	十勝バス本社	白樺通19条	大空団地	20.2
	柏葉高・総合 振興局線	帯広駅バスターミナル	柏葉高校	帯広駅バスターミナル	4.4
	清水帯広線	清水駅前	芽室駅前	帯広駅バスターミナル	36.1
殖北海道 バス(株)	雄飛が丘団地線 (雄飛ヶ丘)	帯広駅前	雄飛が丘	音更高校	15.1
	音更高校線	帯広駅前	木野大通14	音更高校	14.6

③都市間交通

【都市間バス、空港連絡バス】

表 6 都市間交通一覧

運行主体	路線名	起点	経由地	終点	キロ数
十勝バス(株)	空港連絡バス	帯広グランドホテル		とかち帯広空港	29.6
	空港連絡バス	十勝バス本社	大正本町	とかち帯広空港	35.4
	旭川帯広線	帯広駅バスターミナル	狩勝峠	旭川駅前	181.4
	札幌帯広線	帯広駅バスターミナル	占冠	札幌	202.4
北海道拓殖バス(株)	市内ホテル空港線	ノースランド帯広前	北海道ホテル前	とかち帯広空港	31.3
	帯広・釧路空港線	ガーデンSPA 十勝川温泉	帯広駅前	たんちょう釧路空港	125.5
	旭川帯広線	帯広駅前	富良野	旭川駅前	181.9
	札幌帯広線	帯広駅前	芽室	札幌	210.9
	札幌帯広線	帯広駅前	音更	札幌	203.3
	札幌帯広線	帯広駅前	帯広JCT	札幌	202.4

### (3) 路線バスのカバーエリア

路線バスは、東西・南北方向に運行しており、市街化区域内を概ね網羅しています。路線バスのカバー圏域内（バス停から半径 300m の範囲）の人口は、全人口の約 9 割を占めています。

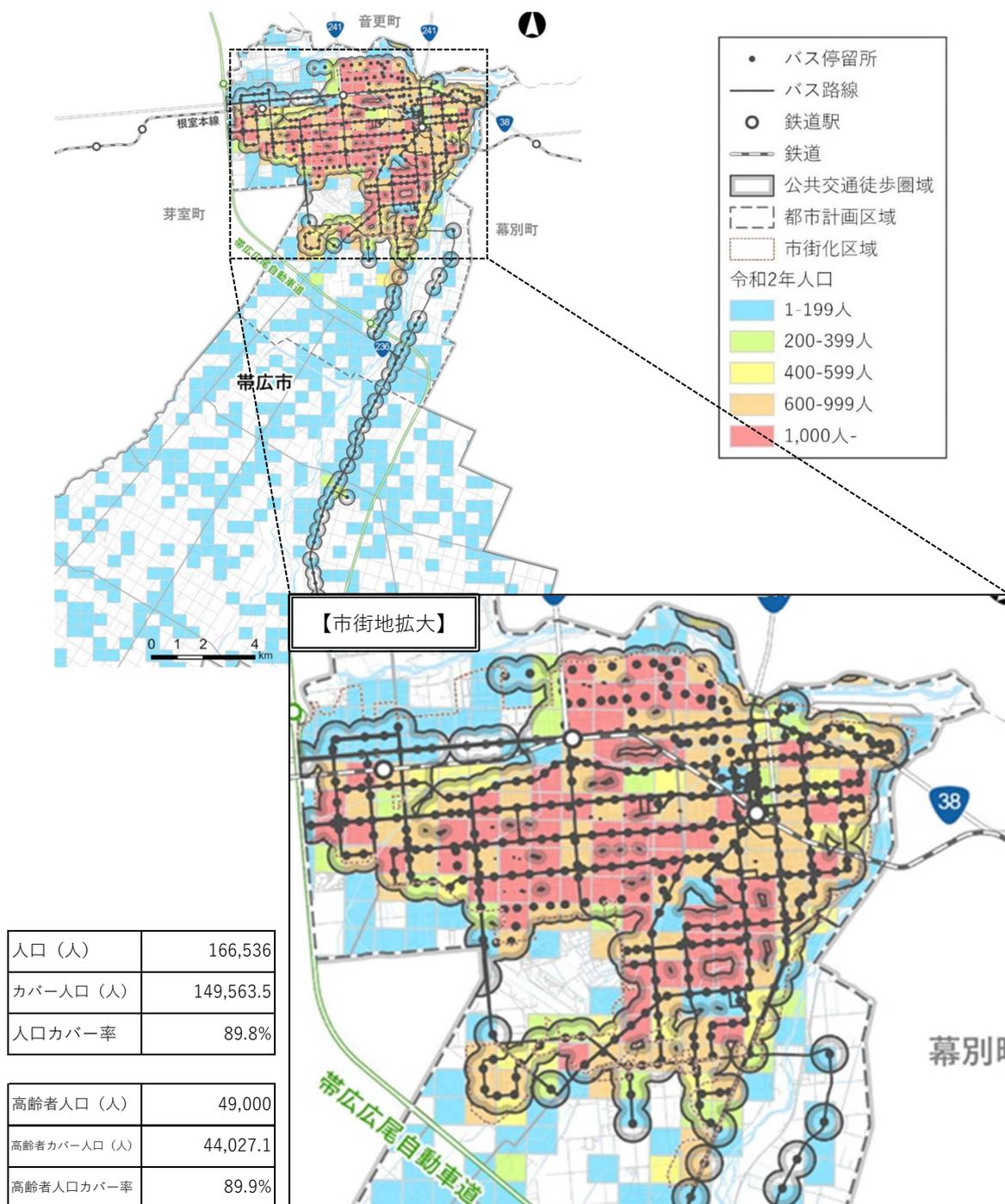
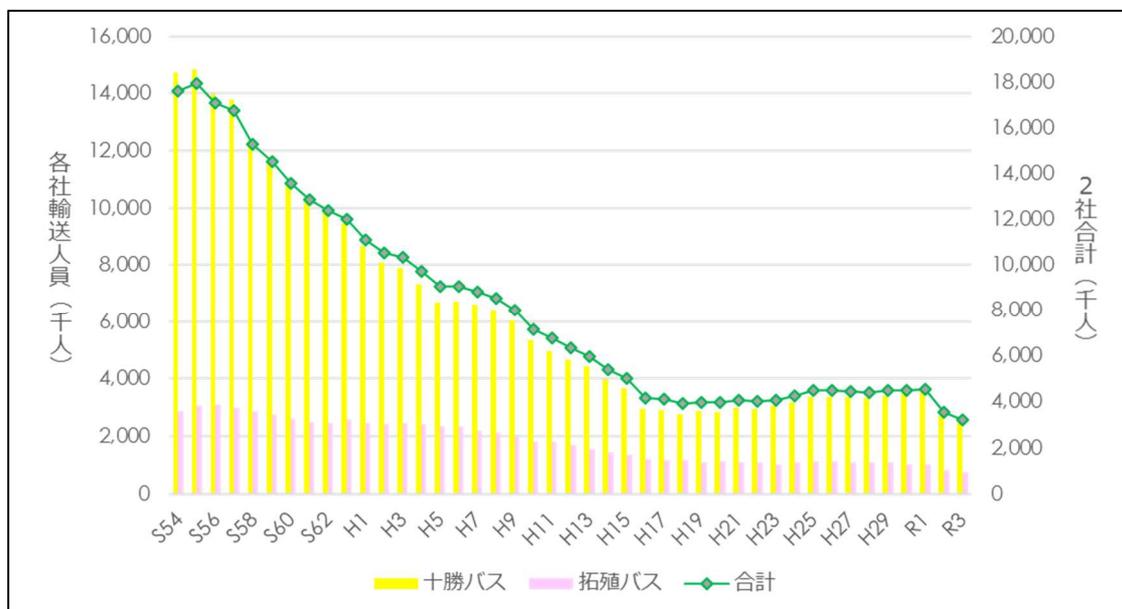


図 17 路線バスカバー状況

#### (4) 路線バス利用者数の推移

近年、路線バスの利用者数は、ほぼ横ばいで推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少しています。



出典：路線バス事業者聴き取り※都市間バス、空港連絡バス含む

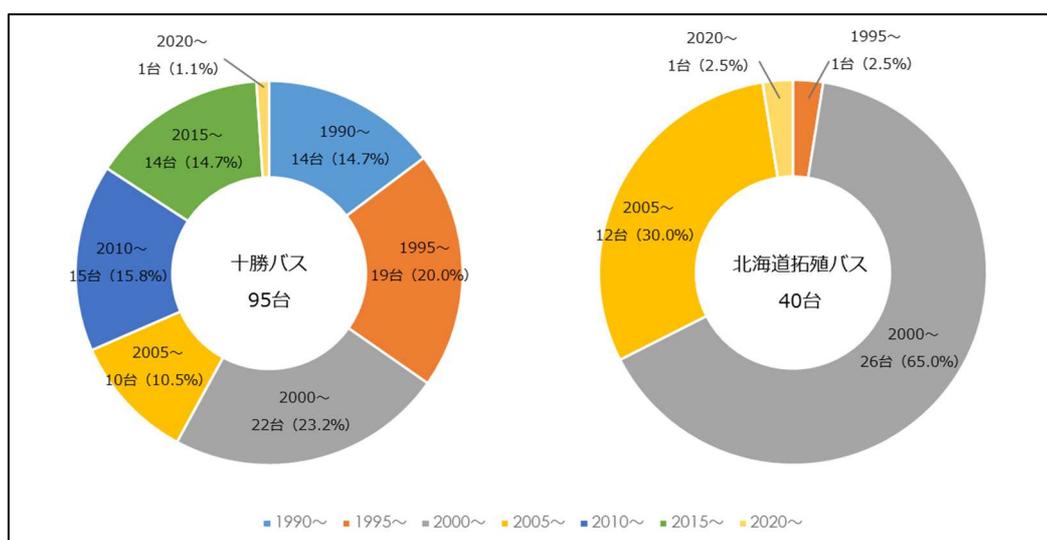
図 18 路線バス輸送人員

(5) 保有車両

令和4年12月現在、十勝バス(株)が95台、北海道拓殖バス(株)が40台の路線バスを保有しています。

車両の年式については、2000年台以降の車両が主流となっていますが、1990年代の車両も運行しています。

また、ノンステップバスやワンステップバスといった低床車両の導入が進んでいます。



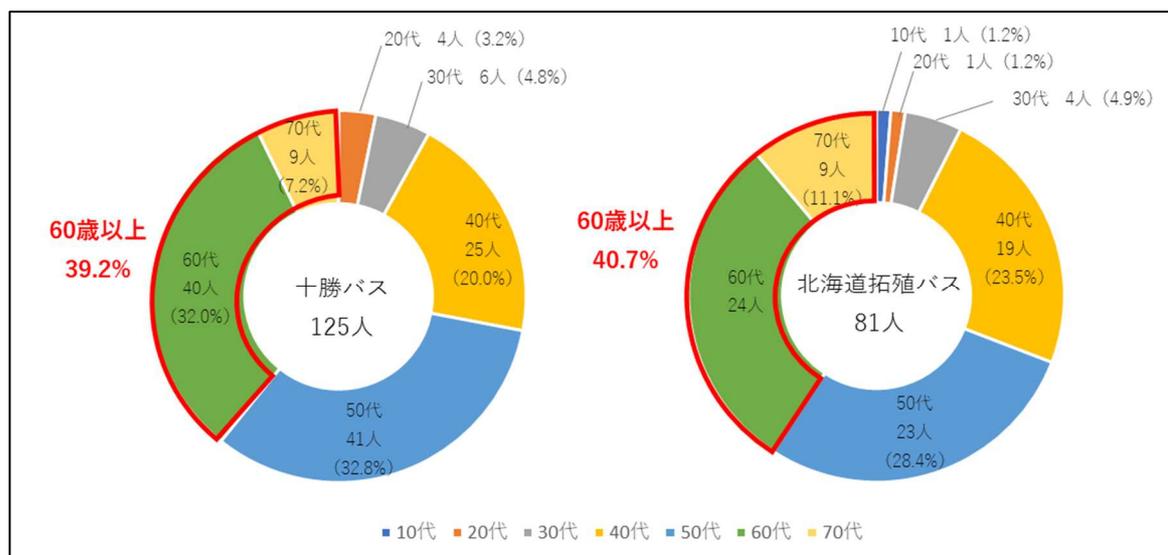
出典：路線バス事業者からの聴き取りを基に帯広市作成

図 19 路線バス保有台数

**※保有車両台数の分かるグラフを追加予定**

(6) 運転手

令和4年12月現在の運転手数については、十勝バス(株)が125名、北海道拓殖バス(株)が81名となっており、両社ともに60歳以上の運転手が約4割を占めています。



出典：路線バス事業者からの聴き取りを基に帯広市作成

図20 運転手の年齢構成

**※運転手数の推移が分かるグラフを追加予定**

(7) 路線バスに対する補助

帯広市における十勝バス(株)、北海道拓殖バス(株)に対する「帯広市バス生活交通路線維持費補助金」は年々増加しており、特に新型コロナウイルス感染症が影響している令和2年度以降、補助金額は大幅に増加しています。

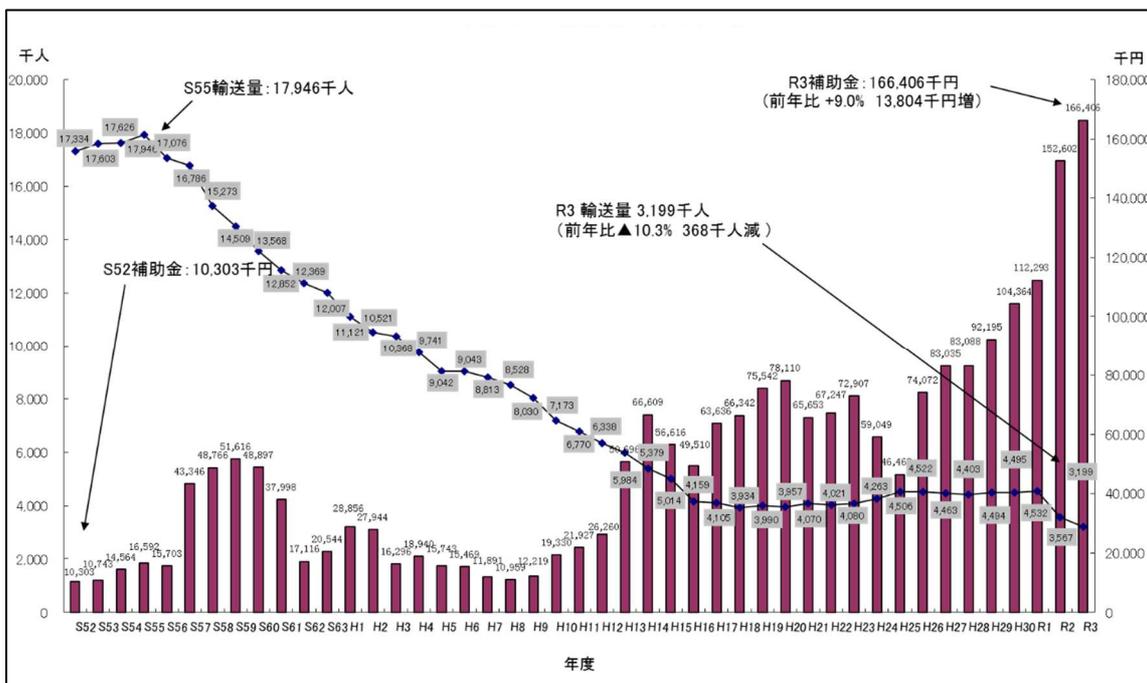
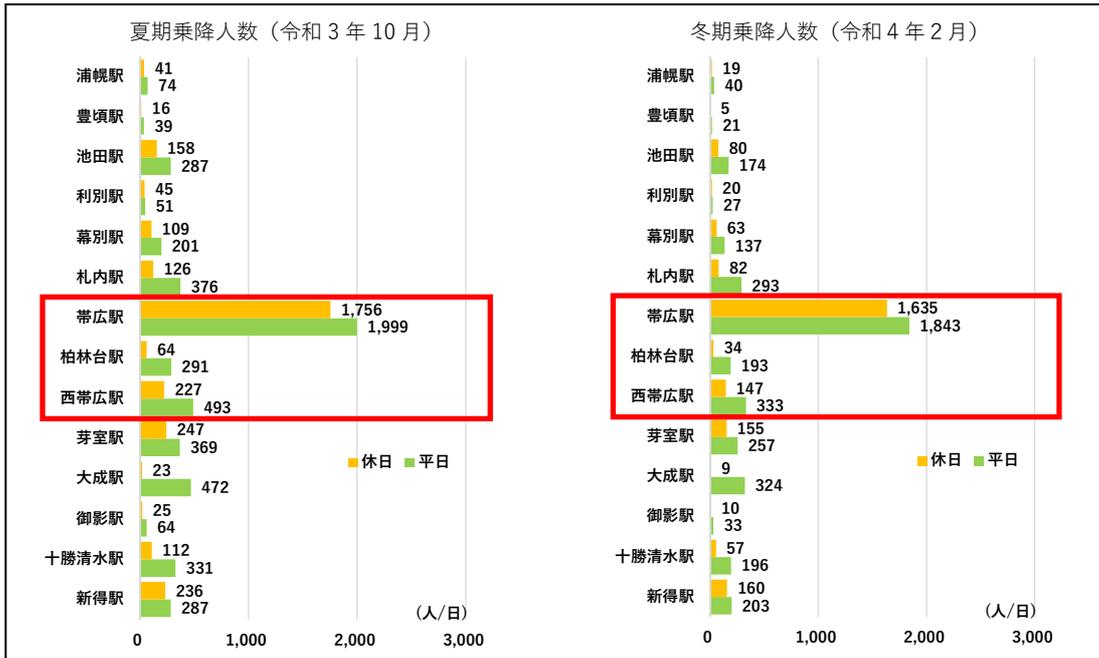


図 21 帯広市バス生活交通路線維持費補助金の推移

## 2 鉄道

鉄道は、J R根室本線が市内を東西に横断しており、旅客駅としては、東から帯広駅、柏林台駅、西帯広駅が供用されています。

中でも帯広駅は、十勝管内で最も利用されている駅ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により乗車人員は大幅に減少しています。



出典：R3 十勝地域公共交通活性化協議会資料を基に帯広市作成

図 22 十勝管内駅毎の乗降人数

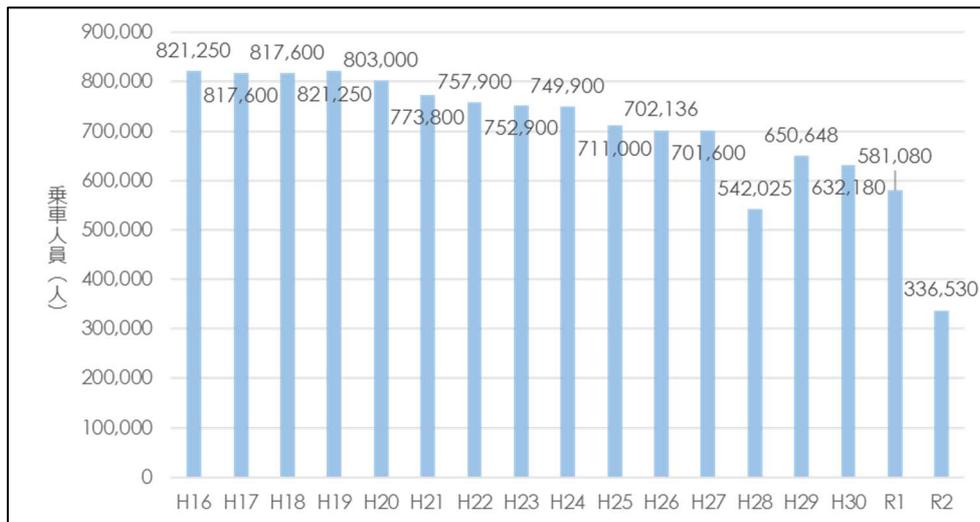


図 23 帯広駅乗車人員

出典：帯広市統計資料基に作成

### 3 あいのりバス・タクシー

#### (1) 概要

川西地区及び大正地区では、路線バス廃止後の代替交通手段として、農村地区内又は農村地区と帯広市中心部を結ぶ予約性のデマンドバス・タクシーが運行しています。

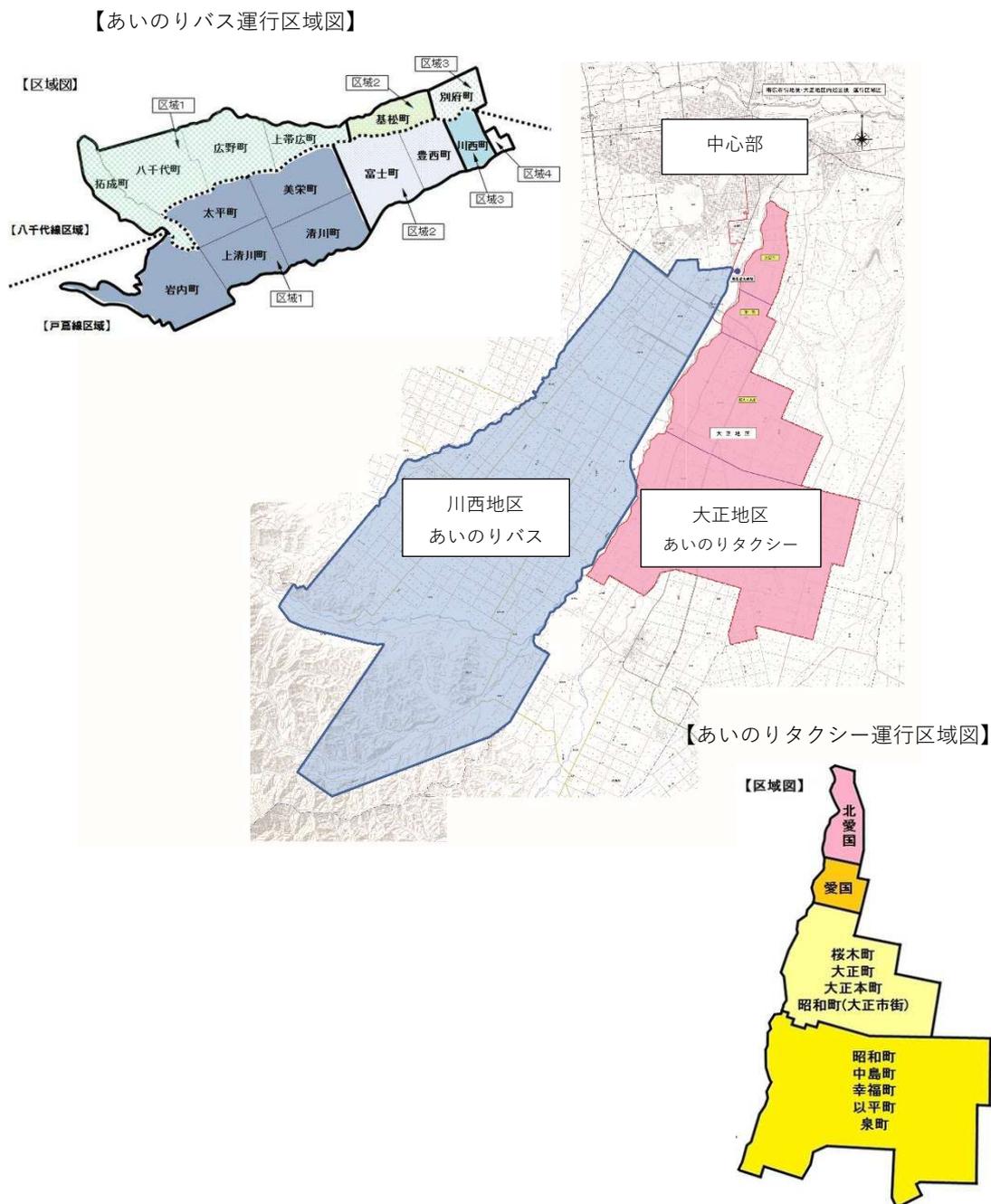


図 24 あいのりバス・タクシー運行区域図

## (2) 利用状況

### ・あいのりバス

平成 17 年 10 月からの運行開始以降、利用者数は増加を続けていましたが、平成 29 年度をピークに減少傾向に転じており、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しています。

利用者層の約 3 割が高齢者となっており、残りは川西中学校の生徒や一般利用者となっています。

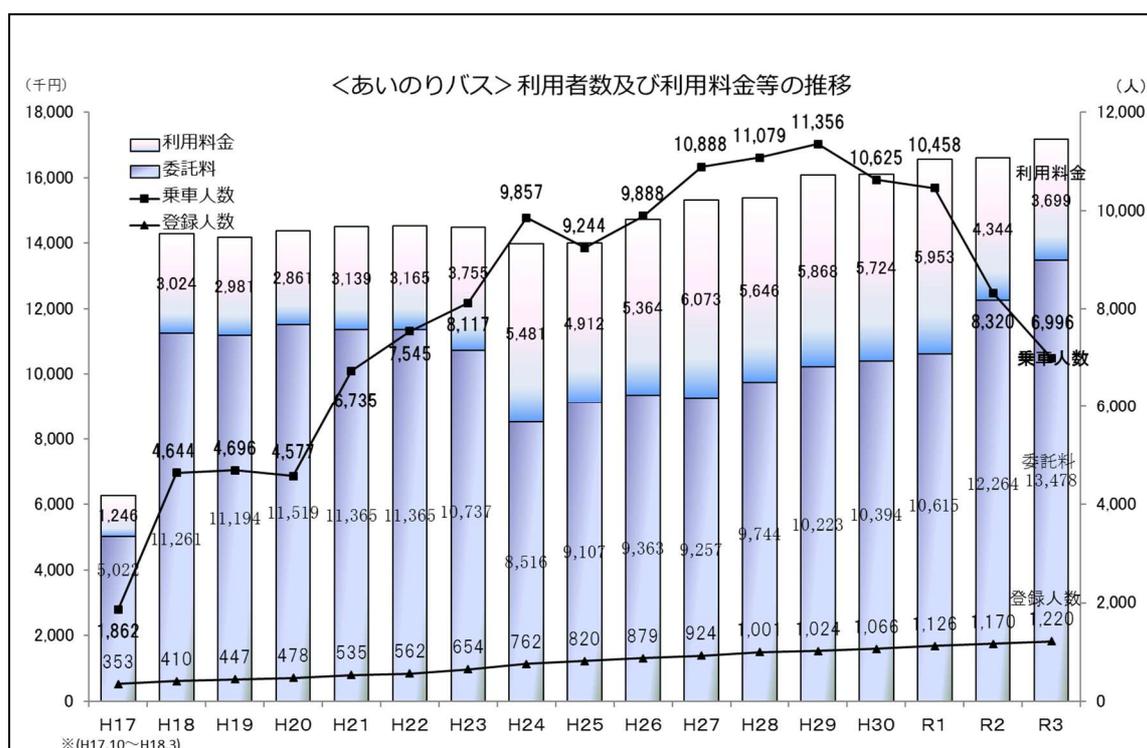


図 25 あいのりバス利用者数等推移

・あいのりタクシー

運行開始後、利用者数は増加を続けていましたが、平成24年度をピークに減少傾向に転じており、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しています。

利用者層の約8割が高齢者となっています。

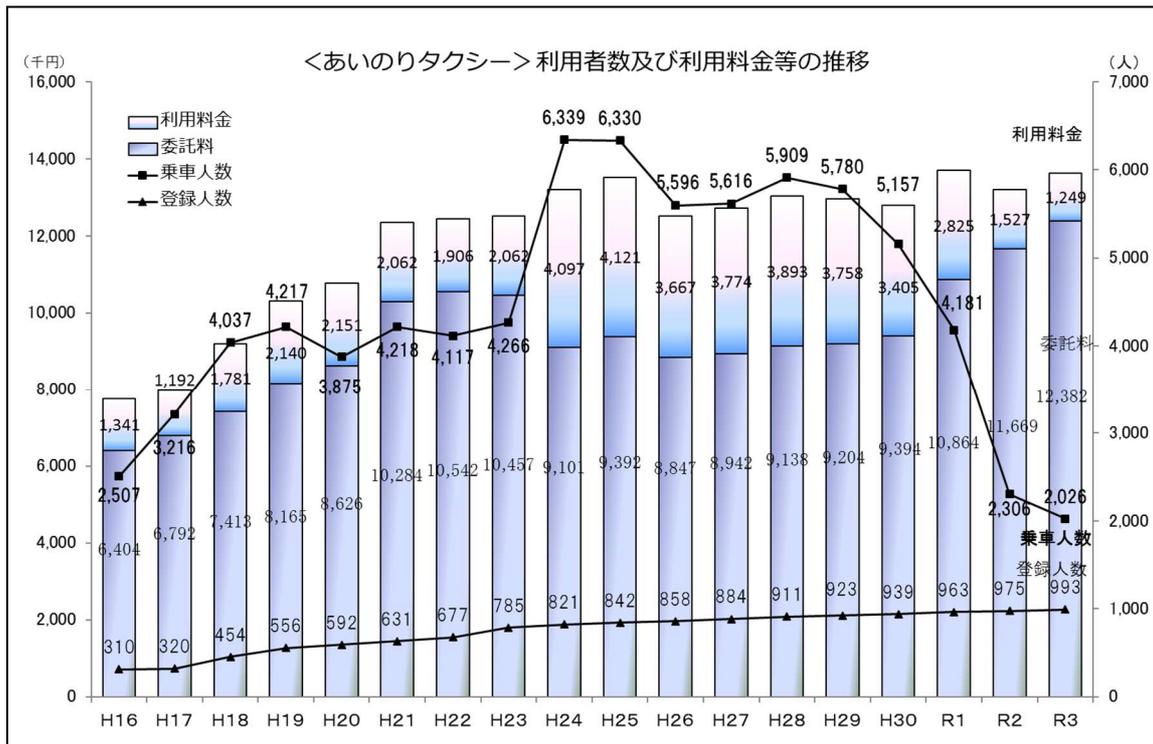


図 26 あいのりタクシー利用者数等推移

#### 4 タクシー

市内では、法人8社〇台、個人49者（令和4年12月現在）のタクシーが運行しています。輸送人員については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前から年々減少していましたが、感染拡大により大幅に減少しました。

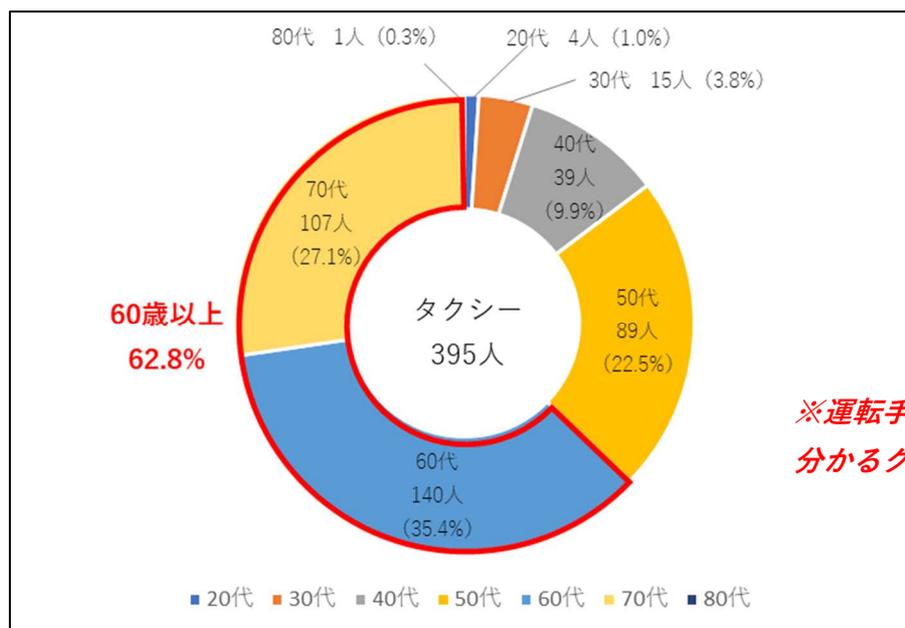
※帯広市内の輸送人員のグラフに変更する予定



出典：「数字で見る北海道の運輸」北海道運輸局（令和3年版）を基に作成

図 27 帯広運輸支局管内の輸送人員数

運転手は、年々減少していることに加え、65歳以上が約6割を占めており、市内タクシー事業者へのアンケート調査からも、運転手不足を大きな課題として認識している状況にあります。



※運転手数の推移が分かるグラフを追加

出典：タクシー事業者からの聴き取りを基に作成

図 28 タクシー運転手 年齢構成（令和4年12月現在）

### 第3節 課題

帯広市の現状や公共交通の現状を踏まえた課題を以下に示します。

<b>課題1</b>	<b>都市構造・施設のあり方に対応した公共交通網の確保</b>
------------	---------------------------------

現在のバス路線網は、帯広駅バスターミナルの発着・経由を基本として、東西・南北方向に運行しています。

中心市街地に医療施設や商業施設等が集積されていた時代においては、利便性の高いバス路線網となっていました。現在は、医療施設や商業施設等が市内の広範囲に点在しているため、一部の路線ではバスターミナルを経由しながら市内を大きく循環し移動時間が多くかかることや、乗り継ぎが必要となっています。

このため、医療施設や商業施設、住宅地等の配置のほか、共栄通や弥生新道等の開通など、道路環境の変化などを踏まえながら、移動利便性の高い路線バス網が課題となっています。

<b>課題2</b>	<b>交通結節点の利便性確保</b>
------------	--------------------

市民はもとより、通勤・通学で利用している近隣町村住民や観光客等に対しても利便性の高い公共交通サービスを提供することが求められることから、現在の帯広駅バスターミナルに加え、市内における複数のバス路線の乗り継ぎ拠点化などにより、利便性を向上することが課題となっています。

<b>課題3</b>	<b>移動の利便性、効率性及び持続可能性の向上</b>
------------	-----------------------------

公共交通の利用者減少や運行経費の増大による運行収支の悪化に加え、運転手不足が深刻な状況にあるため、現在の交通サービスレベルの低下が懸念されています。

今後、限られた輸送資源（車両、運転手等）で持続可能な公共交通サービスを提供していくためには、交通事業者間で協調・連携しながら、利便性や効率性の向上を図ることが課題となっています。

<b>課題4</b>	<b>わかりやすく利用しやすい公共交通サービスの提供</b>
------------	--------------------------------

帯広市では、自家用車の依存度が高いため、今後、増加が見込まれる運転免許を返納した高齢者の中には、公共交通の利用に不慣れな人も一定程度いることが想定されます。

また、普段から公共交通を利用している人や観光客にとっても、目的地までの行き方や料金体系など、わかりやすく利用しやすい公共交通サービスの提供が課題となっています。

<b>課題5</b>	<b>運転手の確保</b>
------------	---------------

交通事業者においては、慢性的な運転手不足による路線バスの減便やタクシー配車時間の大幅な増加が生じています。

今後は、運転手の高齢化による離職が進み、更に運転手が不足することが見込まれるため、公共交通サービスを確保するうえで、運転手の確保が課題となっています。

<b>課題6</b>	<b>路線バスの収支改善</b>
------------	------------------

人口減少や少子高齢化の進展、自家用車の普及などの社会情勢に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、公共交通利用者は大幅に減少しています。また、車両の老朽化による維持費の増大や原油価格高騰による燃料費高騰などにより、路線バス事業者の収支は年々悪化しており、沿線自治体の補助金も増加しています。

路線バスを維持確保していくうえで、運行効率化や利用促進などにより、路線バスの収支改善を図ることが課題となっています。

---

## 第3章 計画の基本的な考え方

---

### 第1節 地域公共交通の将来像

帯広市が目指す地域公共交通の将来像を次のとおり定めます。

### **地域全体で創る 持続可能な公共交通**

公共交通事業者間はもとより、他分野の事業者も協調・協働しながら、持続可能な公共交通の実現を目指します。

また、公共交通利用者への情報提供や利用促進に向けた各種取組を推進するとともに、公共交通に対する理解と関心を深める取り組みを進め、市民、交通事業者、行政などが協働しながら持続可能な公共交通を創り上げていきます。

## 第2節 計画の基本方針

地域公共交通の将来像を実現するため、帯広市及び公共交通の現状と課題を踏まえ、基本方針を次のとおり定めます。

### 基本方針1 持続可能な公共交通サービスの確保

- 市民の日常生活における移動手段を確保・維持するため、利便性と効率性の高い路線バス網に加え、タクシーや鉄道といった交通手段との適切な組み合わせを検討するほか、担い手である運転手の確保に向けた取り組みを進めます。
- 持続可能な公共交通サービスを提供するため、運行収支改善に向けた検討を進めます。

### 基本方針2 乗継・待合環境の充実

- 多様な目的地への移動ニーズに対応するため、利便性の高い乗継環境の整備について検討を進めます。
- 誰もが快適に公共交通を利用できるよう、待合環境の充実を目指します。

### 基本方針3 公共交通の使いやすさの向上

- 日常的に公共交通を利用する方はもとより、公共交通に不慣れな方や公共交通の利用に不安を感じる方でも安心して利用してもらえるよう、公共交通に関する分かりやすい情報提供を行います。
- 移動の利便性を高めるため、MaaS\*など新しいモビリティサービスの導入可能性について検討します。

---

#### \*MaaS (マース：モビリティ・アズ・ア・サービス)

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する手段となる。

基本方針4	公共交通の利用につながる環境づくり
-------	-------------------

- 公共交通をもっと身近な存在として感じてもらえるよう、公共交通への理解・関心を高める取り組みを通じて、利用促進に向けた機運醸成を図ります。

### 第3節 地域公共交通の位置付け及び役割

地域公共交通の将来像及び計画の基本方針を踏まえた地域公共交通ネットワークの確保・維持の考え方について、以下のとおり整理します。

分類	役割・機能等	交通モード	路線・系統	確保・維持の考え方
都市間交通	広域都市間の移動を支える基幹的公共交通	鉄道	JR 根室本線 (特急「おおぞら」、特急「とかち」)	交通事業者において、需要に応じた必要な運行水準の確保・維持を図る。
	空港を利用した道外への移動を支える公共交通	路線バス	ポテトライナー 帯広特急ニュースター号 ノースライナー 帯広空港線(十勝バス) 帯広空港線(北海道拓殖バス) とかちミルクライナー スイツライナー	
地域間交通	十勝管内の市内外住民の通勤・通学・通院・買物などの日常生活を支える生活交通	鉄道	JR 根室本線	交通事業者において、需要に応じた必要な運行水準の確保・維持を図る。
		路線バス	地域間幹線系統 15 路線	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）を活用しながら、国・北海道・沿線市町村・交通事業者により確保・維持を図る。
市街地交通	市民の通勤・通学・通院・買物などの日常生活を支える生活交通	路線バス	広域生活交通路線 5 系統 市町補助及び市単独補助路線 18 系統 補助対象外路線 10 系統	一部路線において北海道生活交通確保維持事業（広域生活交通路線）を活用しながら、北海道・沿線自治体・交通事業者により確保・維持を図る。
	路線バスでカバーできない市民の生活交通及び観光客等来街者の移動手段	タクシー	（市内タクシー事業者）	交通事業者において、需要に応じた必要な運行水準の確保・維持を図る。運行の確保・維持にあたっては、関係機関が連携した確保・維持の取り組みを検討・実施する。
郊外交通	農村部（大正・川西地区）住民の通院・買物などの日常生活を支える生活交通	デマンド交通	地域内フィーダー系統 4 系統 （あいのりタクシー（帯広市街地便、大正地区内巡回便）、あいのりバス（八千代線、戸蔭線））	地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）を活用しながら、帯広市・交通事業者により確保・維持を図る。

## 第4章 基本方針に基づく施策

### 第1節 施策体系

基本方針に基づき取り組む施策体系は以下のとおりです。

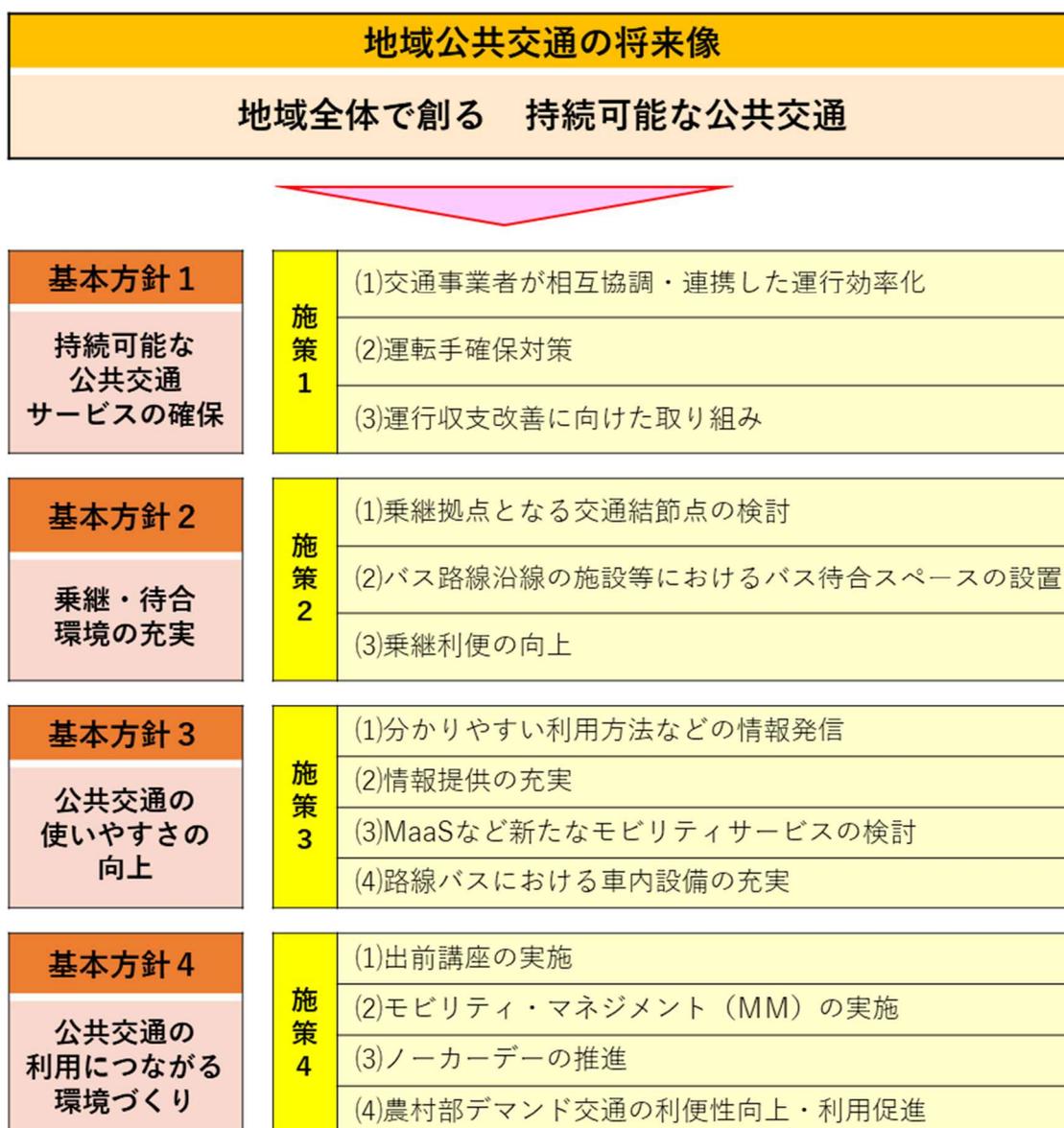


図33 施策体系

## 第2節 施策内容

基本方針1	持続可能な公共交通サービスの確保
-------	------------------

### 施策1-(1) 交通事業者が相互協調・連携した運行効率化

- 利用者のニーズに対応した路線・運行経路・ダイヤ等の調整を行うことにより、運行の効率化を図ります。
- 路線バス以外の効率的な運行形態や、路線バス、タクシー、鉄道の交通モード間の連携可能性について検討します。
- 都市構造や施設の立地状況を踏まえ、帯広駅バスターミナルなどの交通結節点での乗り継ぎに加え、潜在需要の掘り起こしにつながる直行便など、既存の路線網の見直しについて検討します。
- 運行効率化の検討・実施に向けて、客観的なデータの活用を検討します。

## 施策 1 - (2) 運転手確保対策

- 交通事業者において、運転手確保に向けた採用募集のほか、関係機関と連携しながら、合同就職相談会などの取り組みを実施します。
- 帯広市地域公共交通活性化協議会において、バス・タクシー運行業務の魅力や、交通事業者における運転手募集の取り組みについて情報発信します。
- 帯広市が運営する就職マッチングサイトにバス・タクシー事業者の登録を促すとともに、協議会において情報発信を行います。

十勝地区バス協会・十勝第二次交通活性化推進協議会

# 合同就職相談会 実務体験見学ツアー バス運転体験会

参加無料

2022/11.26(土) 帯広運転免許試験場(帯広市西19条5丁目)  
10:00~16:00 (9時開場)

十勝を支えるプロドライバーを目指そう

プログラム

10:00	教育コース	待合室	実務体験
10:00	バス運転体験会	バス会社タクシー会社に よる合同就職相談会	バス運転者(ガイド) 実務体験見学ツアー
12:00	バス運転体験会	バス会社タクシー会社に よる合同就職相談会	バス運転者(ガイド) 実務体験見学ツアー
14:00	バス運転体験会	バス会社タクシー会社に よる合同就職相談会	バス運転者(ガイド) 実務体験見学ツアー
16:00	バス運転体験会	バス会社タクシー会社に よる合同就職相談会	バス運転者(ガイド) 実務体験見学ツアー

十勝地区バス協会 TEL:0155-37-6500 FAX:0155-37-6585

《参考》合同就職相談会パンフレット（十勝地区バス協会主催）

求職者と求人企業のマッチングシステム BizLoca Tokachi

仕事をお探しの方 企業ご担当の方

登録/345人 登録/302社

SNSでも情報発信中!

とちかで働く!  
BizLoca Tokachi

とちかの優良企業 67 社の中から、気になる企業を探してみよう!

※ 登録企業 302 社のうち、企業紹介ページを作成している企業から抽出されます  
※ 企業紹介ページを作成していない登録企業からも、スカウトメールは届きます

《参考》帯広市運営 就職マッチングサイト「BizLoca(ビズロケ)とちかち」

### 施策1-(3) 運行収支改善に向けた取り組み

- 貨客混載をはじめ、物流や広告、物販など他分野と連携した運賃収入以外の新たな収益確保策に向けた取り組みを進めます。



《参考》マルシェバス（車内後部に物販スペースを設けた路線バス）

## 基本方針 2 乗継・待合環境の充実

### 施策 2 - (1) 乗継拠点となる交通結節点の検討

- 帯広駅バスターミナルのほか、市内における複数のバス路線が運行・経由する交通結節点の乗継拠点化について検討を進めます。
- 施策 1 - (1)におけるバス路線網の見直しなどと併せて、利便性・効率性の高い新たな交通結節点について検討を進めます。

### 施策 2 - (2) バス路線沿線の施設等における待合スペースの設置

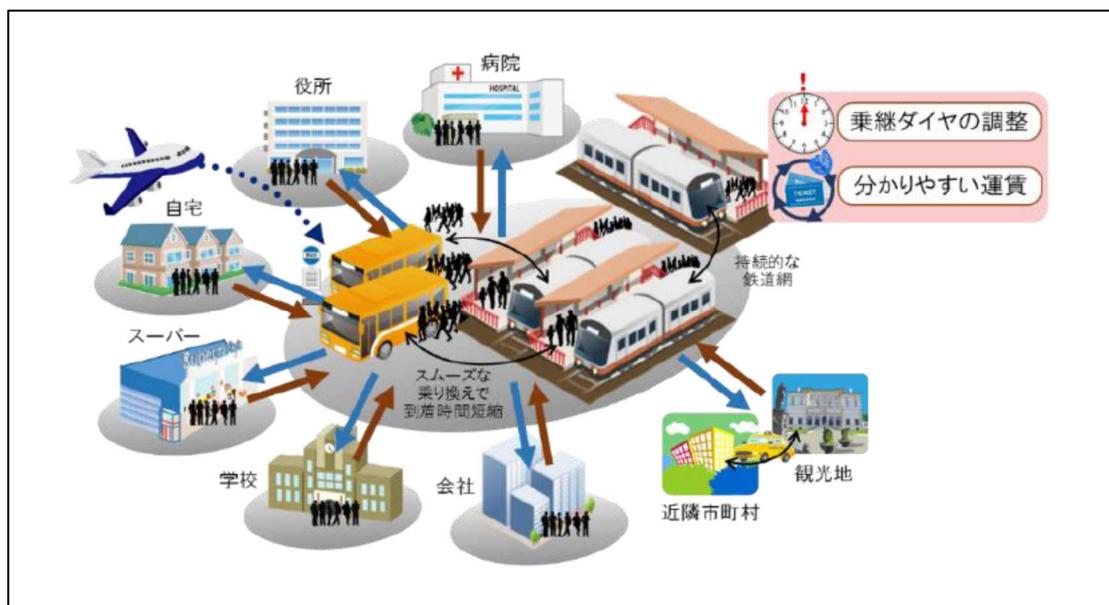
- バス路線の沿線にある商業施設、医療施設、公共施設等の施設内への待合スペースや、敷地内へのベンチなどの設置に向けて、沿線施設との協議を進めます。
- 待合スペースには、バスに関する情報提供を行います。



《参考》帯広郵便局内 バス待合スペース

## 施策 2 - (3) 乗継利便の向上

- 市内を運行する路線バス・タクシー・鉄道の乗り継ぎをスムーズにできるよう、ダイヤ調整や分かりやすい乗継情報の発信、乗継運賃など、シームレスな乗継環境に向けた取り組みを進めます。



《参考》シームレスな乗継環境イメージ（出典：シームレス交通戦略推進会議資料）

**基本方針 3 公共交通の使いやすさの向上**

施策 3 - (1) 分かりやすい利用方法などの情報発信

- 運転免許返納者など、公共交通の利用に不慣れな人の不安解消や利用意識を高めるため、乗り方や行き先、運賃の確認方法などの情報を分かりやすく提供します。
- 老人クラブや地域交流サロンなどの会合で「バスの乗り方講座」を実施し、利用方法の周知を図ります。

施策 3 - (2) 情報提供の充実

- バス停や待合スペース、鉄道駅などにおける情報提供や内容の充実を図ります。



《参考》分かりやすいバス待合施設案内図（出典：北海道拓殖バス(株)ホームページ）

### 施策3-(3) MaaS など新たなモビリティサービスの検討

- 飲食店や商業・観光施設などの目的地との連携や、目的地への移動の利便性の向上を図る MaaS の取り組みのほか、将来的な運転手不足の解消が期待される自動運転など、新たなモビリティサービスに関する導入可能性について検討を行います。



《参考》十勝 MaaS プロジェクト「生活×MaaS 実証実験」(デジタルチケットの販売)

### 施策3-(4) 路線バスにおける車内設備の充実

- 利用者の快適性向上を図るため、バス車内に無料 Wi-Fi や充電用 USB など、車内設備の充実について検討します。

## 基本方針 4 公共交通の利用につながる環境づくり

### 施策 4 - (1) 出前講座の実施

- 小学生や高齢者などを対象とした出前講座を実施し、公共交通への理解醸成や利用促進を図ります。



《参考》出前講座「交通環境学習」（スライド学習・バス乗車体験）

## 施策4-(2) モビリティ・マネジメント※ (MM) の実施

- 学生や転入者、高齢者などを対象として、公共交通の利用方法や環境、健康などの観点からの動機付け情報の提供を行い、自発的な公共交通利用を促す「モビリティ・マネジメント」の取り組みを実施します。

いつまでも明るく。元気に。

まちのバスで、お出かけしませんか。

おじろ

### バスに乗る

- 1** バス停留所でバスを待ちます。  
マップや時刻表で、乗りたい路線、時刻を確認しておきます。
- 2** バスが来たら行先を確認。  
乗るのはこのバスで合っていますか？  
行き先表示や音声案内を確認しましょう。
- 3** バスの中扉(乗り口)から乗ります。  
降り口(中扉)
- 4** 整理券を取って、席に座ります。  
乗り口の「整理券取付機」から、整理券を取ってお取りください。席は空いているお好きなところへ、乗車は足るまで待っていただけます。

バス路線・時刻・運賃が検索できます!  
Googleマップ

### バスは街の大切な交通手段。

1980年 約1,800万人  
2022年 約328万人  
1980年比 約82%減

おうちでクルマがあるのは、当たり前。バスがある人は、当たり前。バス乗車者は減りつつ、バス会社は赤字は年々大きくなっています。このままではバスの数を減らしたり、路線を中止しなくてはならぬかもしれません。マが使えない時なんて、困ってしまってもいいです。困ったときにバスが使える、困らずに二回でもバスを利用することで、将来にわたってバスを減らすことがありません。

2022年12月現在 作成：帯広市地域公共交通活性化協議会  
調査：イノストラ・システムズから、帯広市/帯広市公共交通活性化協議会

《参考》高齢者向け MM 小冊子（発行：帯広市地域公共交通活性化協議会）

## 施策4-(3) ノーカーダーの推進

- マイカー通勤を自粛し、公共交通や自転車、徒歩を利用して通勤する「ノーカーダー」の取り組みを通じて、環境配慮行動としての公共交通利用を促進します。

※モビリティ・マネジメント：

地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み。

#### 施策 4 - (4) 農村部デマンド交通の利便性向上及び利用促進

- 「あいのりタクシー／あいのりバス」の利用方法などの周知を図るとともに、地域で開催される会合などにおいて、参加者とのコミュニケーションを通じたニーズの把握や利用促進を図ります。
- 地域に根付いた「あいのりタクシー／あいのりバス」の特性を活かした、日頃よく利用する高齢の利用者に異変がないかの「見守り」など、地域住民の福祉向上について検討し、「あいのりを維持・利用して行こう」という機運醸成を図ります。

## 第5章 計画の推進に向けて

### 第1節 評価指標

本計画の達成状況を評価するため、評価指標及び数値目標を以下のとおり設定します。

#### 【評価指標及び数値目標】

基本方針	評価指標	単位	現況値	目標値				
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
1. 持続可能な公共交通サービスの確保								
2. 乗継・待合環境の充実								
3. 公共交通の使いやすさの向上								
4. 公共交通の利用につながる環境づくり								

## 第2節 計画の推進

本計画は、市民、交通事業者、行政などで構成する「帯広市地域公共交通活性化協議会」が主体となり、施策・事業を進めます。

本計画の推進にあたっては、帯広市地域公共交通活性化協議会において、計画策定(Plan)、施策・事業の実施(Do)、モニタリング(Check)、見直し・改善(Action)を繰り返すPDCAサイクルに基づき、年度ごとの施策・事業の実施と実施内容の評価・見直しを行い、計画の推進及び進捗管理を実施します。

なお、国における大きな制度改正や、市内公共交通ネットワークに大きな影響を与える状況変化などが発生した場合、必要に応じて見直しを行います。